

第2節 児童生徒歯科保健実態調査

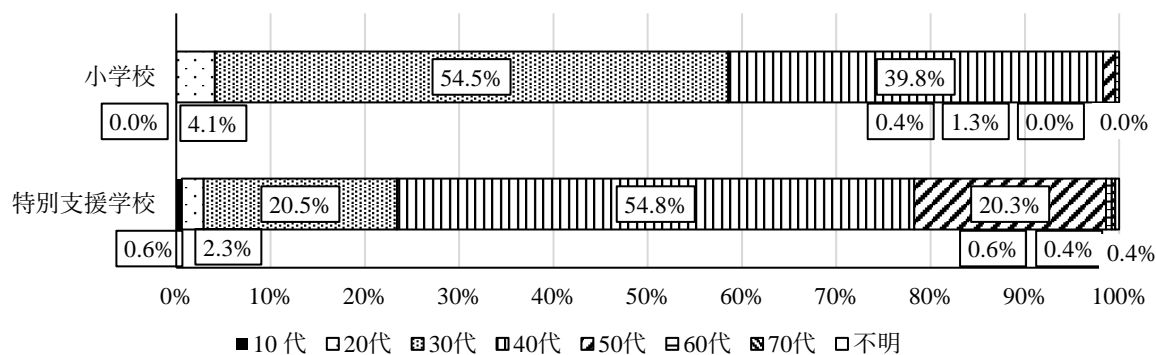
(1) 保護者の年齢

(小学校第1学年、特別支援学校小学部・中学部・高等部(保護者回答)のみ)
アンケートに回答されるあなた(保護者)の年齢を教えてください。

【保護者の年齢分布(学校別)】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計
全体	3 (0.3)	34 (3.2)	405 (38.7)	490 (46.8)	106 (10.1)	5 (0.5)	2 (0.2)	2 (0.2)	1,047 (100.0)
小学校	0 (0.0)	23 (4.1)	305 (54.5)	223 (39.8)	7 (1.3)	2 (0.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	560 (100.0)
特別支援学校	3 (0.6)	11 (2.3)	100 (20.5)	267 (54.8)	99 (20.3)	3 (0.6)	2 (0.4)	2 (0.4)	487 (100.0)

()は%



(2) 性別

お子さまの性別を教えてください。

【小学校の部】

	小学校 1 年生		小学校 4 年生		全体	
	人 数	%	人 数	%	人 数	%
男	283	50.5	303	49.9	586	50.2
女	276	49.3	293	48.3	569	48.8
無回答	1	0.2	11	1.8	12	1.0
計	560	100.0	607	100.0	1167	100.0

【中学校の部】

	中学校 1 年生	
	人 数	%
男	310	49.8
女	306	49.1
無回答	7	1.1
計	623	100.0

【高校の部】

	高等学校 1 年生	
	人 数	%
男	147	46.4
女	164	51.7
無回答	6	1.9
計	317	100.0

【特別支援学校の部】

	特別支援 小学部		特別支援 中学部		特別支援高等部 (生徒回答)		特別支援高等部 (保護者回答)		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
男	175	70.9	100	74.6	118	68.2	61	57.5	454	68.8
女	70	28.3	34	25.4	55	31.8	40	37.7	199	30.2
無回答	2	0.8	0	0.0	0	0.0	5	4.7	7	1.0
計	247	100.0	134	100.0	173	100.0	106	100.0	660	100.0

(3) 甘いお菓子の摂取頻度

あめ・チョコ・アイスなどのあまいお菓子を、1週間のうちに何日くらい食べますか。

【小学校の部】

今回の調査では、全体で見ると、「ほぼ毎日」が 42.8%で最も高く、次いで「週に 3～4 日」(28.3%)、「週に 1～2 日」(21.2%)という結果であった。

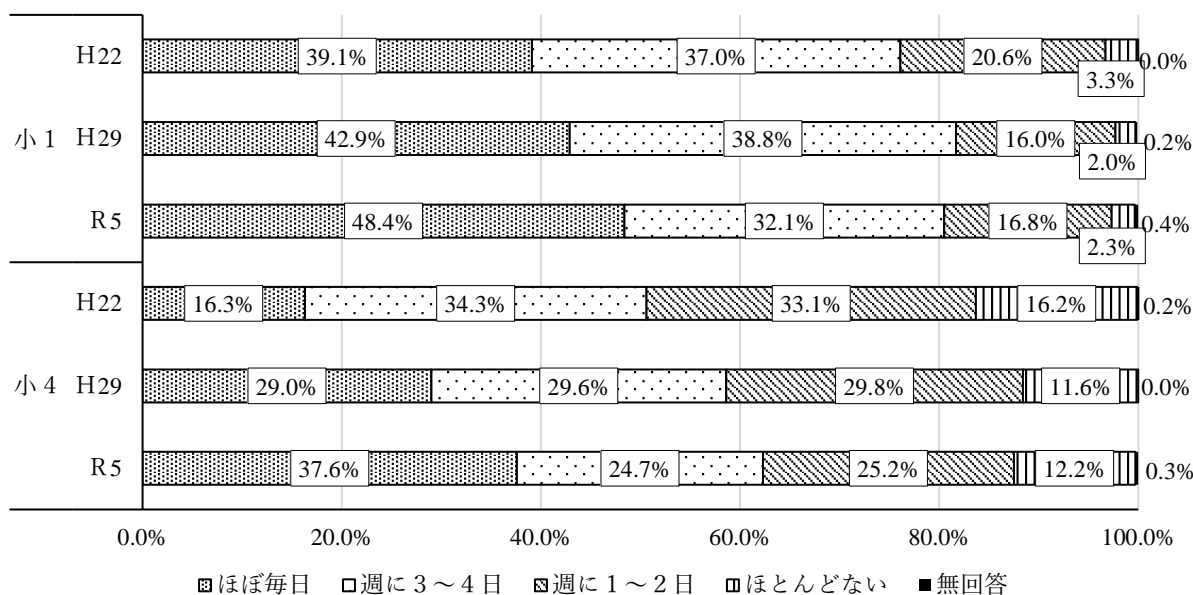
第 1 学年・第 4 学年のいずれにおいても、「ほぼ毎日」の割合が最も高い結果であった。また、第 4 学年では、第 1 学年と比較して、「ほとんどない」の割合が高い結果であった。

「ほぼ毎日」と「週に 3～4 日」をあわせた割合は、第 1 学年が 80%を超え、第 4 学年においても、60%を超えていることから、甘い菓子の摂取頻度は高い結果となっている。

経年的な変化をみると、第 1 学年・第 4 学年のいずれにおいても、「ほぼ毎日」の割合が調査ごとに増加している。

平成 29 年度調査との比較では、「ほぼ毎日」の割合が、第 1 学年で 5.5 ポイント、第 4 学年で 8.6 ポイント増加している。また、「ほとんどない」の割合がごくわずかに増加している。

	小学校第 1 学年		小学校第 4 学年		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%
ほぼ毎日	271	48.4	228	37.6	499	42.8
週に 3～4 日	180	32.1	150	24.7	330	28.3
週に 1～2 日	94	16.8	153	25.2	247	21.2
ほとんどない	13	2.3	74	12.2	87	7.5
無回答	2	0.4	2	0.3	4	0.3



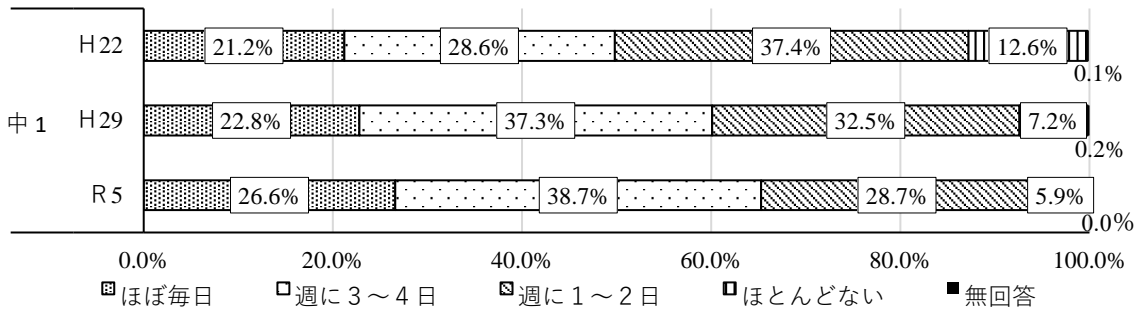
【中学校の部】

今回の調査では、「週に 3～4 日」が 38.7%と最も高く、次いで「週に 1～2 日」(28.7%)、「ほぼ毎日」(26.6%)という結果であった。「ほぼ毎日」と「週に 3～4 日」をあわせた割合は、50%を超え、甘い菓子の摂取頻度は高い結果となっている。一方で、「ほとんどない」の割合は、5.9%と低い結果であった。

経年的な変化をみると、「ほぼ毎日」の割合が調査ごとに増加しており、「ほとんどない」の割合は減少していた。

平成 29 年度調査と比較すると、「ほぼ毎日」の割合が、3.8 ポイント増加している。また、「ほとんどない」の割合は、1.3 ポイント減少している。

	中学校第1学年	
	人数	%
ほぼ毎日	166	26.6
週に 3～4 日	241	38.7
週に 1～2 日	179	28.7
ほとんどない	37	5.9
無回答	0	0.0



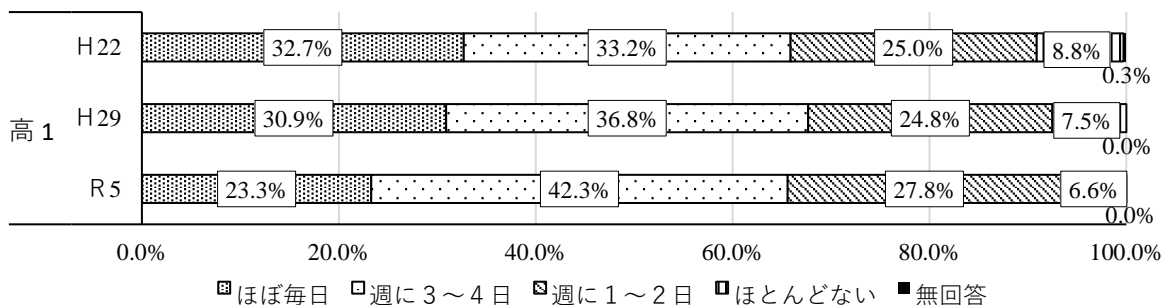
【高校の部】

今回の調査では、「週に 3～4 日」が 42.3%と最も高く、次いで「週に 1～2 日」(27.8%)、「ほぼ毎日」(23.3%)という結果であった。「ほぼ毎日」と「週に 3～4 日」をあわせた割合は、65%を超え、甘い菓子の摂取頻度は高い結果となっている。一方で、「ほとんどない」の割合は、6.6%と非常に低い結果であった。

経年的な変化では、「ほぼ毎日」の割合が調査ごとに減少し、一方、「週に 3～4 日」が増加していた。

平成 29 年度調査との比較では、「ほぼ毎日」の割合が、7.6 ポイントの減少している。

	高等学校第1学年	
	人数	%
ほぼ毎日	74	23.3
週に 3～4 日	134	42.3
週に 1～2 日	88	27.8
ほとんどない	21	6.6
無回答	0	0.0



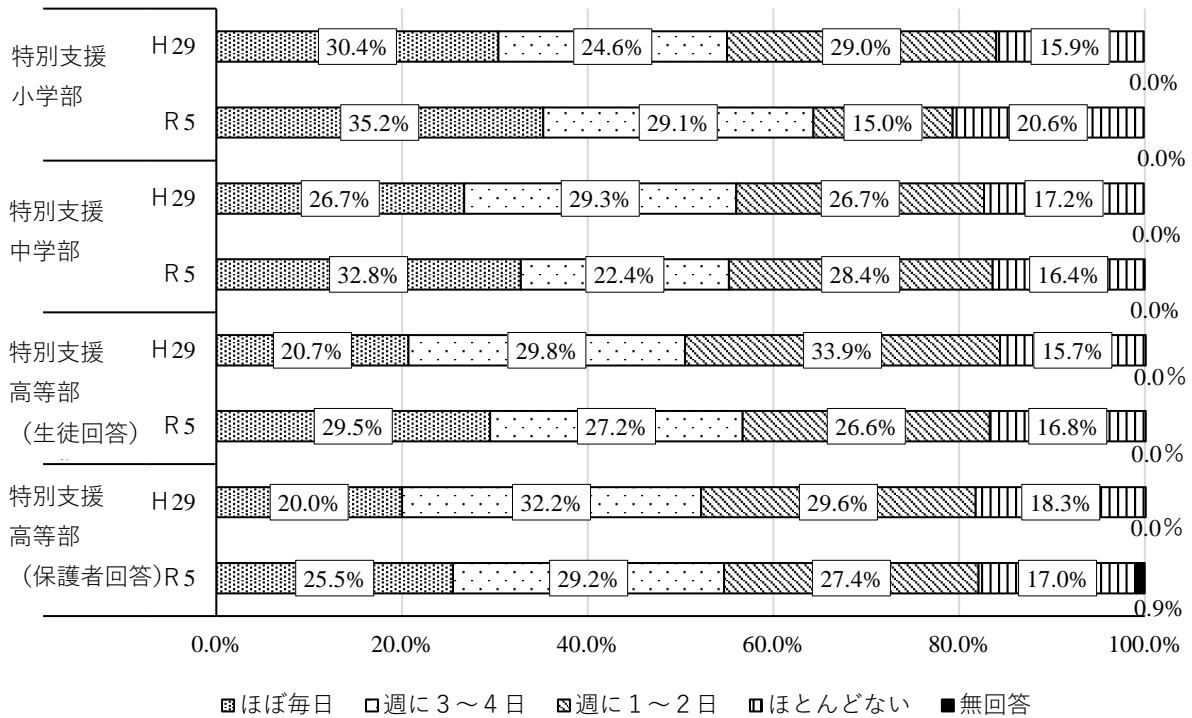
【特別支援学校の部】

今回の調査では、全体で見ると、「ほぼ毎日」が 31.7%で最も高く、次いで「週に 3～4 日」(27.3%)、「週に 1～2 日」(22.7%)という結果であった。

小学部・中学部・高等部(生徒回答)のいずれにおいても、「ほぼ毎日」の割合が最も高い結果であった。また、高等部(保護者回答)では、「週に 3～4 日」が 29.2%と最も高い結果であった。「ほぼ毎日」と「週に 3～4 日」をあわせた割合は、いずれも 50%を超え(小学部では 60%超え)、甘い菓子の摂取頻度は高い結果となっている。

平成 29 年度調査との比較では、「ほぼ毎日」の割合が、小学部で 4.8 ポイント、中学部で 6.1 ポイント、高等部(生徒回答)で 8.8 ポイント、高等部(保護者回答)で 5.5 ポイント増加している。また、「ほとんどない」については、小学部で 4.7 ポイント増加しているが、その他は大きな認められなかった。

	特別支援小学部		特別支援中学部		特別支援高等部(生徒回答)		特別支援高等部(保護者回答)		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
ほぼ毎日	87	35.2	44	32.8	51	29.5	27	25.5	209	31.7
週に 3～4 日	72	29.1	30	22.4	47	27.2	31	29.2	180	27.3
週に 1～2 日	37	15.0	38	28.4	46	26.6	29	27.4	150	22.7
ほとんどない	51	20.6	22	16.4	29	16.8	18	17.0	120	18.2
無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.9	1	0.2



(4) 甘い飲み物の摂取頻度

ジュース・乳酸飲料・スポーツドリンクなどのあまい飲み物を、1週間のうちに何日くらい飲みますか。

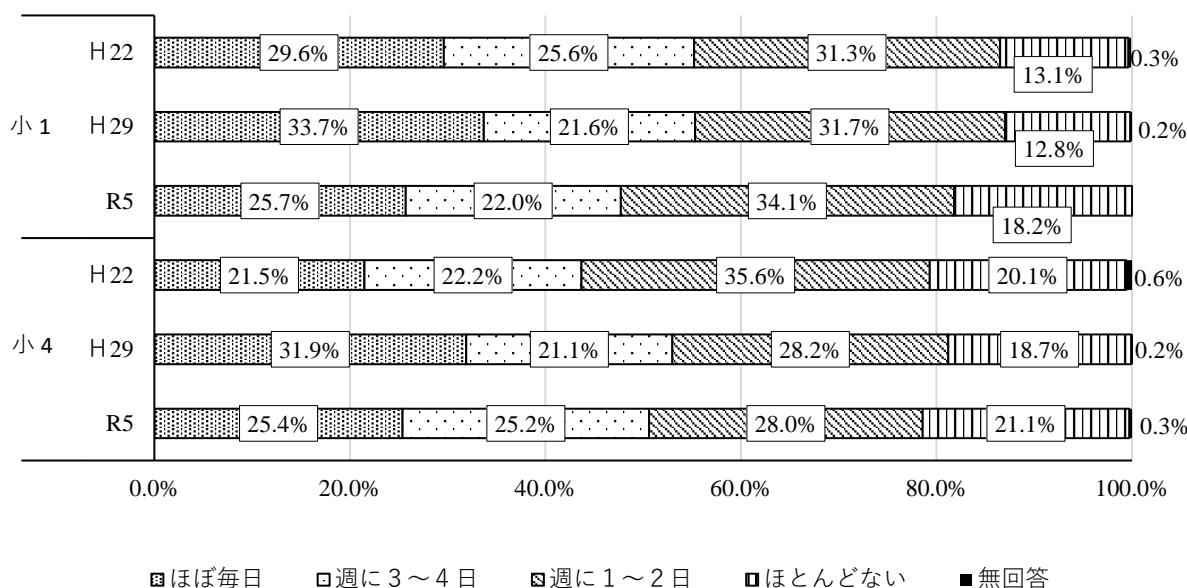
【小学校の部】

今回の調査では、全体でみると、「週に 1～2 日」が 30.9%で最も高く、次いで「ほぼ毎日」(25.5%)、「週に 3～4 日」(23.7%)という結果であった。第 1 学年・第 4 学年それぞれをみても、「週に 1～2 日」が最も高い割合であった。

経年的な変化をみると、第 1 学年・第 4 学年で、年度により変動しており、一定の傾向はみられない。

平成 29 年度調査との比較では、「ほぼ毎日」の割合が、第 1 学年で 8.0 ポイント、第 4 学年で 6.5 ポイント減少している。また、「ほとんどない」の割合は、第 1 学年で 5.4 ポイント、第 4 学年で 2.4 ポイント増加している。

	小学校第1学年		小学校第4学年		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%
ほぼ毎日	144	25.7	154	25.4	298	25.5
週に 3～4 日	123	22.0	153	25.2	276	23.7
週に 1～2 日	191	34.1	170	28.0	361	30.9
ほとんどない	102	18.2	128	21.1	230	19.7
無回答	0	0.0	2	0.3	2	0.2



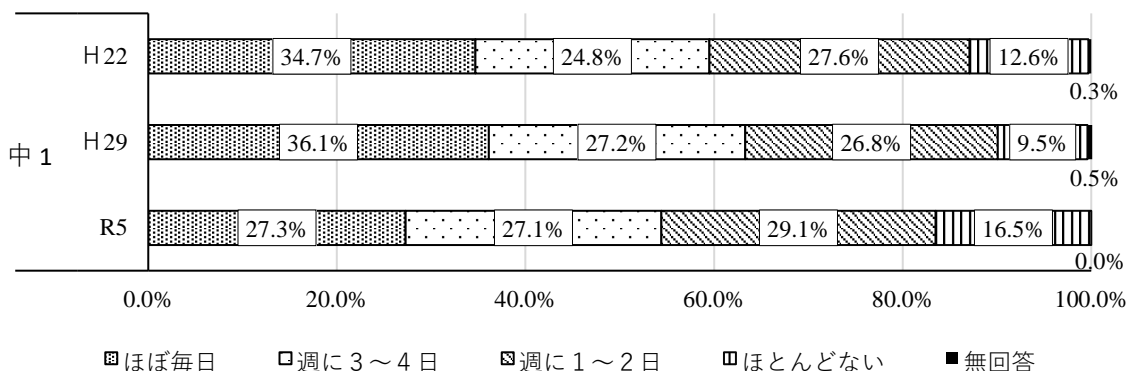
【中学校の部】

今回の調査では、「週に 1～2 日」が 29.1%と最も高く、次いで「ほぼ毎日」(27.3%)、「週に 3～4 日」(27.1%)という結果であった。一方で、「ほとんどない」の割合も 16.5%という結果であった。

経年的な変化をみると、「ほぼ毎日」が減少し、「ほとんどない」が増加傾向にあった。

平成 29 年度調査と比較すると、「ほぼ毎日」の割合が、8.8 ポイント減少し、「ほとんどない」の割合は、7.0 ポイント増加している。

	中学校第1学年	
	人数	%
ほぼ毎日	170	27.3
週に3～4日	169	27.1
週に1～2日	181	29.1
ほとんどない	103	16.5
無回答	0	0.0



【高校の部】

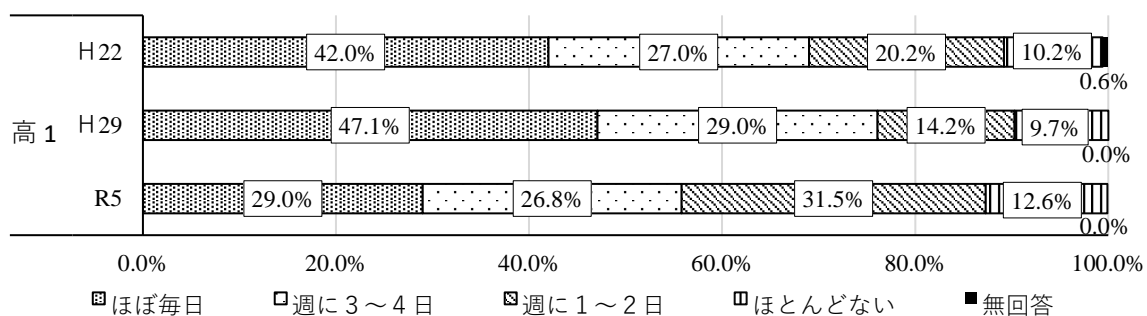
今回の調査では、「週に1～2日」が31.5%と最も高く、次いで「ほぼ毎日」(29.0%)、「週に3～4日」(26.8%)という結果であった。

「ほぼ毎日」と「週に3～4日」をあわせた割合は、50%を超え、甘い飲み物の摂取頻度は高い結果となっている。一方で、「ほとんどない」の割合は12.6%であった。

経年的な変化をみると、「ほぼ毎日」の割合が減少し、「ほとんどない」が増加している。

平成29年度調査と比較すると、「ほぼ毎日」の割合が、第1学年で18.1ポイント減少し、「ほとんどない」の割合が2.9ポイント増加している。

	高等学校第1学年	
	人数	%
ほぼ毎日	92	29.0
週に3～4日	85	26.8
週に1～2日	100	31.5
ほとんどない	40	12.6
無回答	0	0.0



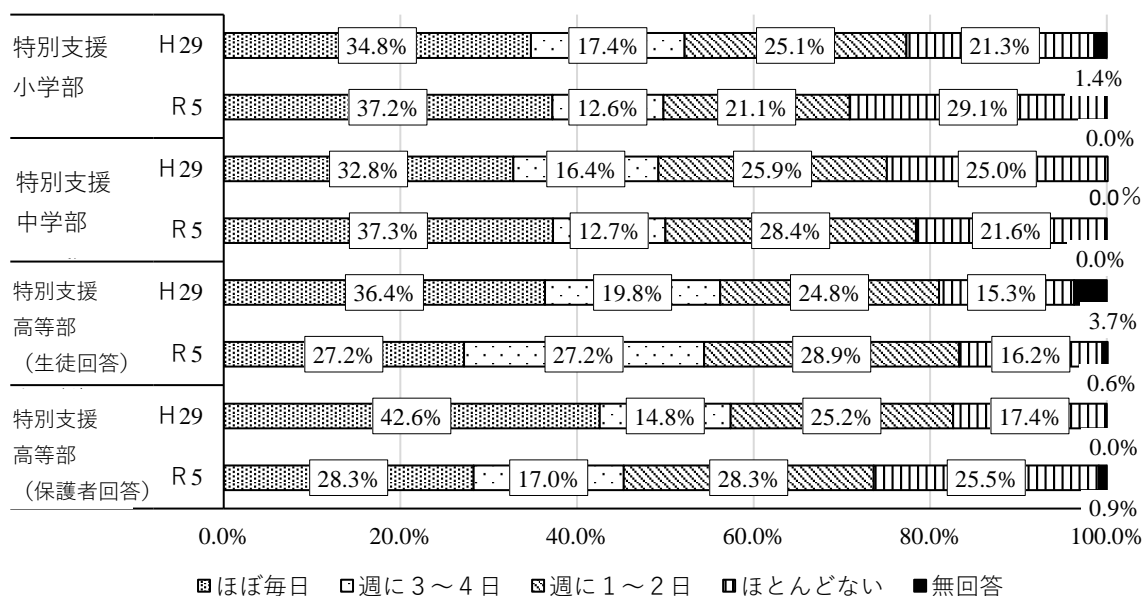
【特別支援学校の部】

今回の調査では、全体でみると、「ほぼ毎日」の割合が 33.2%と最も高く、次いで「週に 1～2 日」が 25.8%、「週に 3～4 日」が 17.1%であった。

小学部・中学部では「ほぼ毎日」の割合が 37.2%・37.3%と最も高い結果であった。一方、「ほとんどない」の割合も 29.1%・21.6%という結果であった。また、高等部(生徒回答)・高等部(保護者回答)では「週に 1～2 日」の割合とあわせ、「ほぼ毎日」の割合も高い結果であった。

平成 29 年度調査との比較では、「ほぼ毎日」の割合が、小学部で 2.4 ポイント、中学部で 4.5 ポイント増加し、高等部(生徒回答)で 9.2 ポイント、高等部(保護者回答)で 14.3 ポイントと大きく減少している。また、「ほとんどない」の割合は、小学部で 7.8 ポイント、中学部で 3.4 ポイント、高等部(生徒回答)で 0.9 ポイント減少しており、高等部(保護者回答)では 8.1 ポイント増加している。

	特別支援小学部		特別支援中学部		特別支援高等部(生徒回答)		特別支援高等部(保護者回答)		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
ほぼ毎日	92	37.2	50	37.3	47	27.2	30	28.3	219	33.2
週に 3～4 日	31	12.6	17	12.7	47	27.2	18	17.0	113	17.1
週に 1～2 日	52	21.1	38	28.4	50	28.9	30	28.3	170	25.8
ほとんどない	72	29.1	29	21.6	28	16.2	27	25.5	156	23.6
無回答	0	0.0	0	0.0	1	0.6	1	0.9	2	0.3



(5) 歯や歯ぐきの観察

あなたは鏡などを使って、自分で歯や歯ぐきの様子などを観察することがありますか。
 (小学校第1学年、特別支援学校小学部・中学部・高等部(保護者回答)では、「お子さまの口の中(歯や歯ぐきの様子)を観察することがありますか。」)

【小学校の部】

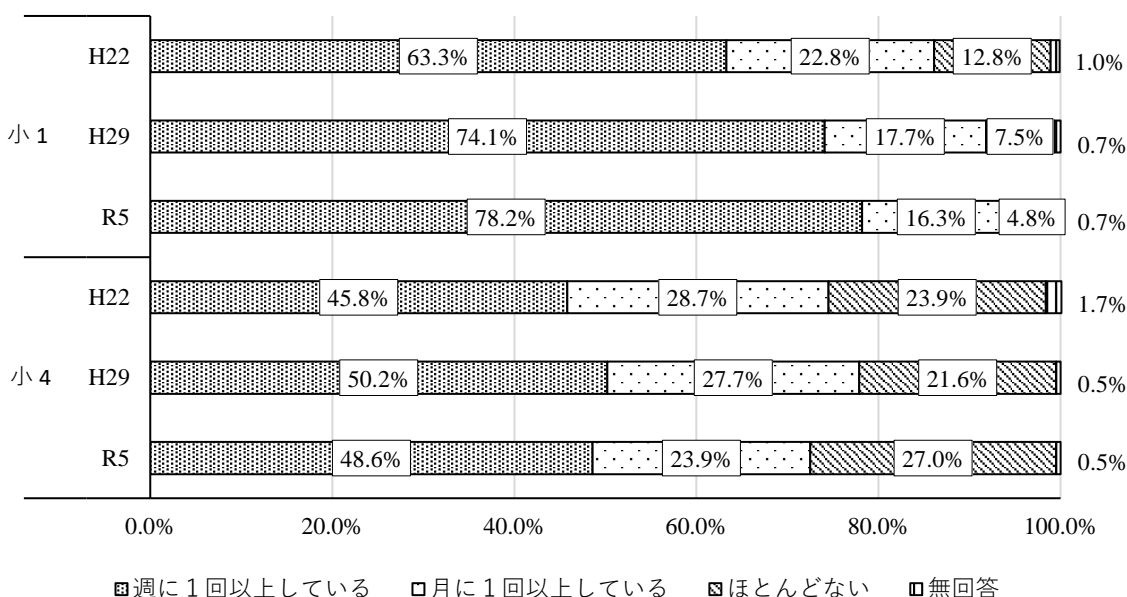
今回の調査では、全体で見ると、「週に1回以上している」の割合が、62.8%と最も高く、次いで、「月に1回以上している」が20.2%、「ほとんどない」が16.4%であった。

第1学年・第4学年で「週に1回以上している」の割合が、それぞれ78.2%・48.6%と最も高い結果であった。第4学年では、「ほとんどない」の割合も27.0%と第1学年に比べて高い結果であった。

経年的な変化をみると、第1学年では、「週に1回以上している」の割合は増加しているが、第4学年ではあまり変化が見られなかった。「ほとんどない」の割合も、第1学年では減少傾向であったが、第4学年ではあまり変化が見られなかった。

平成29年度調査との比較では、「週に1回以上している」の割合は、第1学年で4.1ポイント増加しており、第4学年で1.6ポイント減少している。「ほとんどない」の割合は、第1学年で2.7ポイント減少し、第4学年では、5.6ポイント増加している。

	小学校第1学年		小学校第4学年		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%
週に1回以上している	438	78.2	295	48.6	733	62.8
月に1回以上している	91	16.3	145	23.9	236	20.2
ほとんどない	27	4.8	164	27.0	191	16.4
無回答	4	0.7	3	0.5	7	0.6



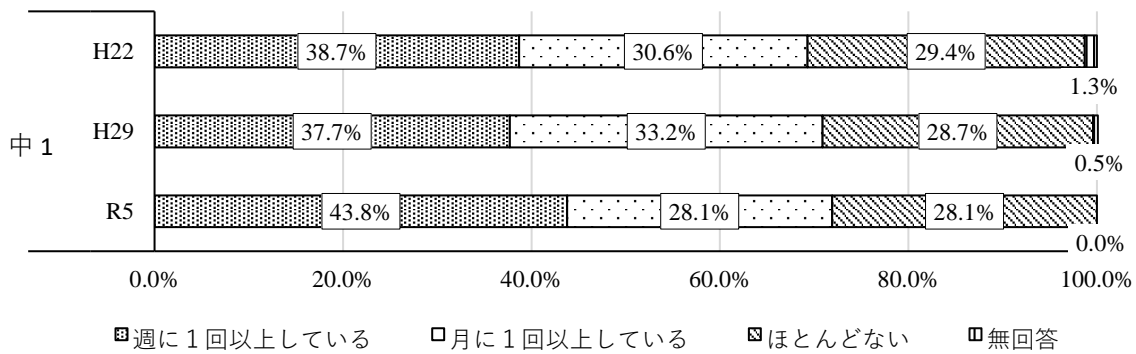
【中学校の部】

今回の調査では、「週に1回以上している」の割合が43.8%で最も多く、次いで、「月に1回以上している」・「ほとんどない」が28.1%であった。

経年的な変化をみると、「週に1回以上している」は増加傾向にあり、「月に1回以上している」・「ほとんどない」は、減少傾向であった。

平成29年度調査との比較では、「週に1回以上している」の割合が、6.1ポイント増加している。

	中学校第1学年	
	人数	%
週に1回以上している	273	43.8
月に1回以上している	175	28.1
ほとんどない	175	28.1
無回答	0	0.0



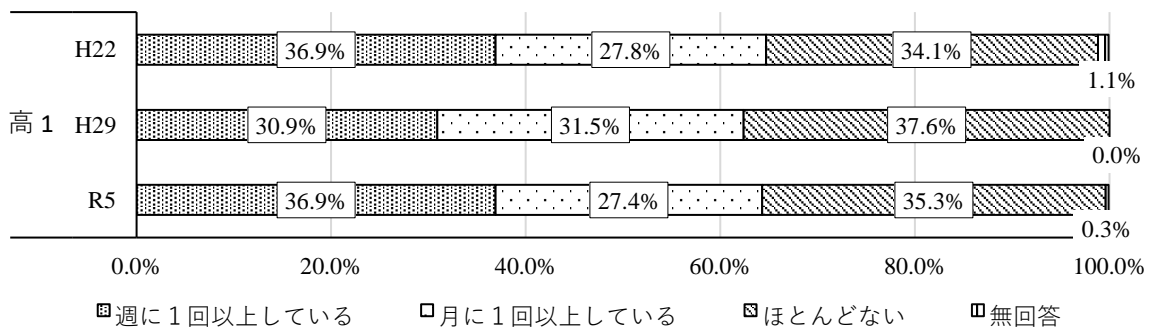
【高校の部】

今回の調査では、「週に1回以上している」が36.9%と最も高く、次いで、「ほとんどない」が35.3%、「月に1回以上している」が27.4%であった。

経年的な変化をみると、「週に1回以上している」「月に1回以上している」「ほとんどない」の割合に大きな変化は認められなかった。

平成29年度調査との比較では、「週に1回以上している」の割合が6.0ポイント増加し、「ほとんどない」の割合が2.3ポイント減少している。

	高等学校第1学年	
	人数	%
週に1回以上している	117	36.9
月に1回以上している	87	27.4
ほとんどない	112	35.3
無回答	1	0.3



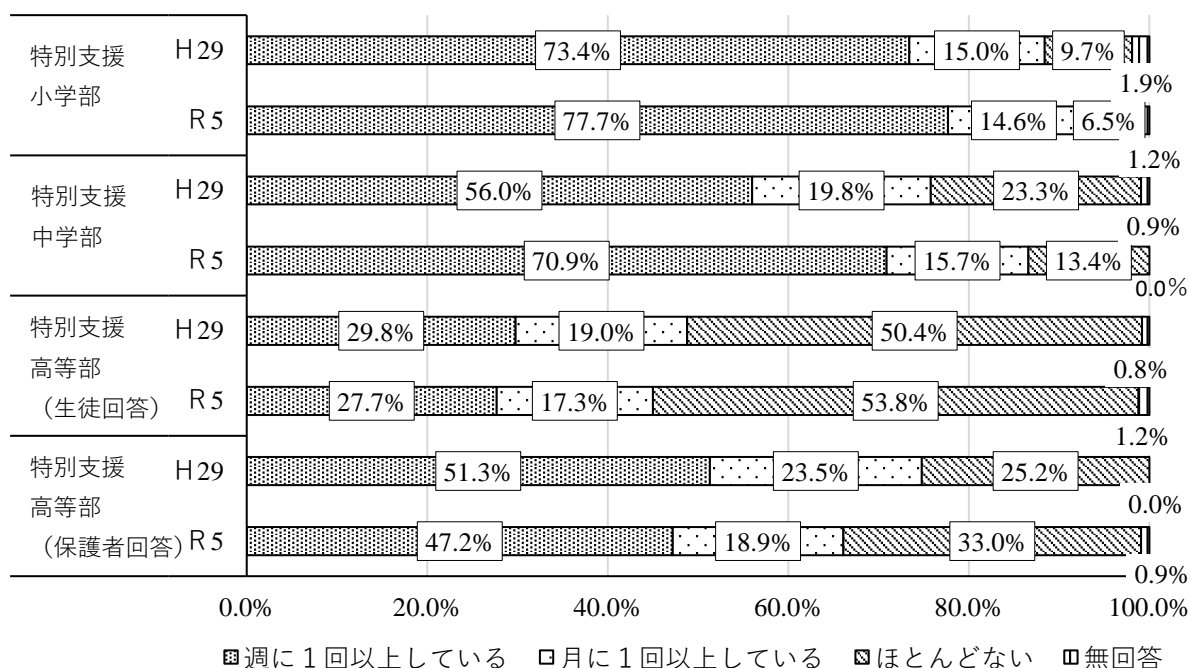
【特別支援学校の部】

今回の調査では、全体で見ると、「週に1回以上している」の割合が、58.3%と最も高く、次いで、「ほとんどない」が24.5%、「月に1回以上している」が16.2%であった。

小学部・中学部で「週に1回以上している」の割合が、それぞれ77.7%・70.9%と高い割合を示し、高等部(生徒回答)では27.7%と低い結果であった。「ほとんどない」については、小学部・中学部・高等部(保護者回答)に比較して、高等部(生徒回答)で高い結果(53.8%)であった。

平成29年度調査との比較では、「週に1回以上している」の割合は、小学部で4.3ポイント、中学部で14.9ポイント増加しており、高等部(生徒回答)及び高等部(保護者回答)では、それぞれ2.1ポイント、4.1ポイント減少している。また、「ほとんどない」の割合は、小学部で3.2ポイント、中学部で9.9ポイント減少しており、高等部(生徒回答)及び高等部(保護者回答)では、それぞれ3.4ポイント、7.8ポイント増加している。

	特別支援小学部		特別支援中学部		特別支援高等部(生徒回答)		特別支援高等部(保護者回答)		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
週に1回以上している	192	77.7	95	70.9	48	27.7	50	47.2	385	58.3
月に1回以上している	36	14.6	21	15.7	30	17.3	20	18.9	107	16.2
ほとんどない	16	6.5	18	13.4	93	53.8	35	33.0	162	24.5
無回答	3	1.2	0	0.0	2	1.2	1	0.9	6	0.9



(6) 仕上げみがきの状況

(小学校第1学年、特別支援学校小学部・中学部・高等部(保護者回答)のみ)
 お子さまに仕上げみがきをしていますか。

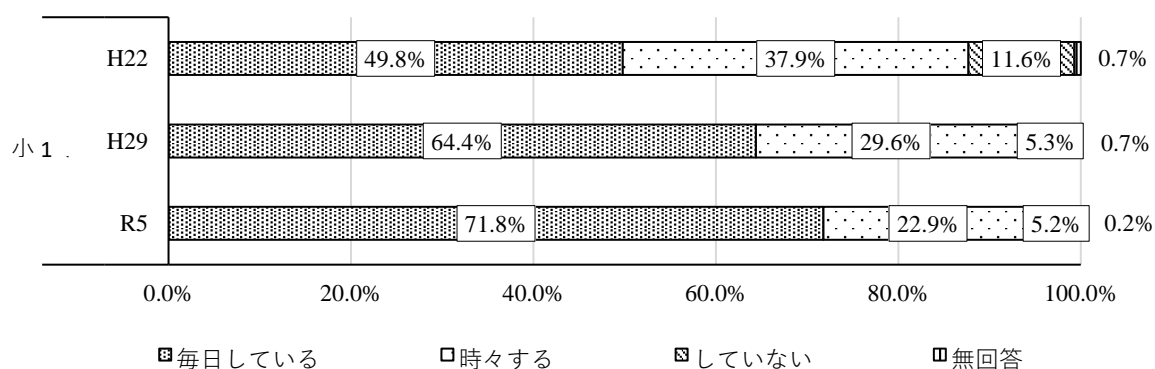
【小学校の部】

今回の調査では、「毎日している」の割合が71.8%で最も高く、次いで、「時々する」が22.9%、「していない」が5.2%であった。

経年的な変化をみると、「毎日している」の割合が増加し、「していない」の割合は減少している。

平成29年度調査との比較では、「毎日している」の割合が、7.4ポイント増加しており、「していない」の割合は大きな変化は認められない。

	小学校第1学年	
	人数	%
毎日している	402	71.8
時々する	128	22.9
していない	29	5.2
無回答	1	0.2



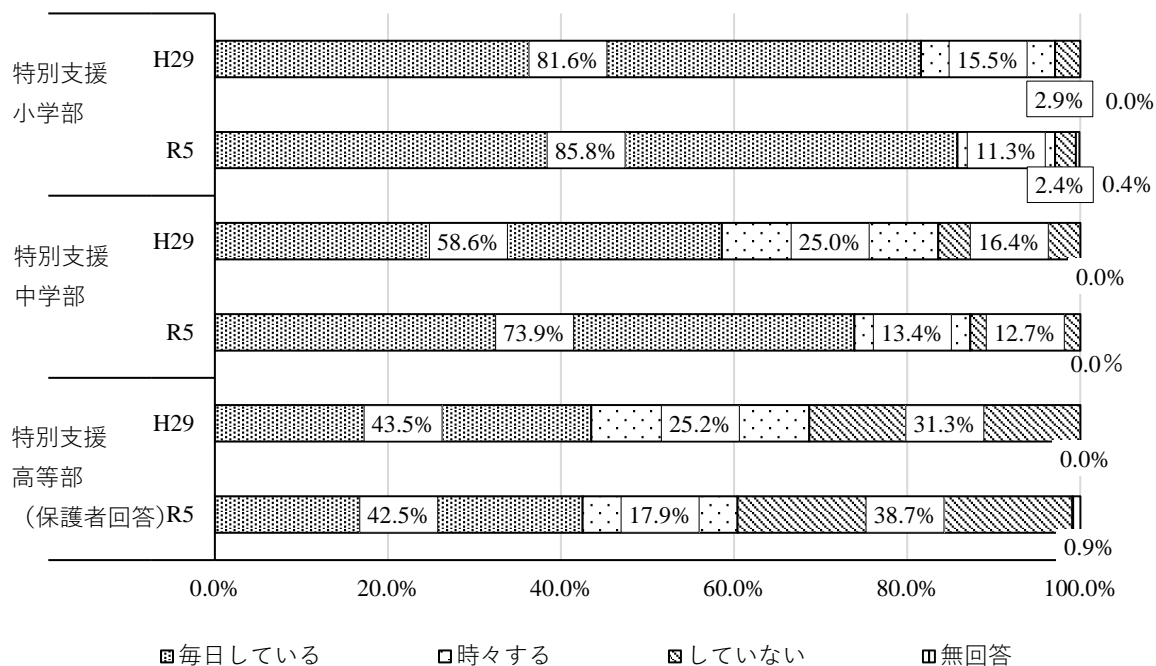
【特別支援学校の部】

今回の調査では、全体で見ると、「毎日している」の割合が 73.1%で最も多く、次いで、「時々する」が 13.3%、「していない」が 13.2%であった。

小学部・中学部では、「毎日している」の割合が、それぞれ 85.8%・73.9%と高い結果であった。

平成 29 年度調査との比較では、「毎日している」の割合が、小学部で 4.2 ポイント、中学部で 15.3 ポイント増加し、特別支援学校高等部(保護者回答)では、1.0 ポイント減少している。

	特別支援小学部		特別支援中学部		特別支援高等部 (保護者回答)		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
毎日している	212	85.8	99	73.9	45	42.5	356	73.1
時々する	28	11.3	18	13.4	19	17.9	65	13.3
していない	6	2.4	17	12.7	41	38.7	64	13.1
無回答	1	0.4	0	0.0	1	0.9	2	0.4



(6-1) 仕上げみがきの時間帯

(小学校第1学年、特別支援学校小学部・中学部・高等部(保護者回答)のみ)

<お子さまに仕上げみがきを「毎日している」と答えた方に>

仕上げみがきをいつしていますか。あてはまるものにもくつでも○をつけてください。

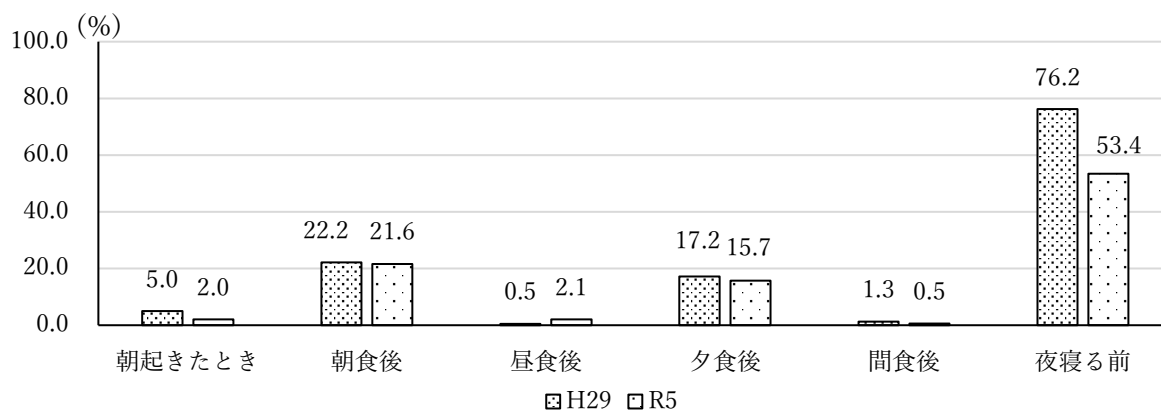
【小学校の部】

今回の調査では、「夜寝る前」の割合が、それぞれ 53.4%と最も高い結果であった。次いで、「朝食後」、「夕食後」となっている。

平成 29 年度調査との比較では、「夜寝る前」の割合が、22.8 ポイント減少し、「朝食後」と「夕食後」の割合は大きな変化は認められない。

	朝起きたとき	朝食後	昼食後	夕食後	間食後	夜寝る前	無回答
小学校1年生	2.0	21.6	2.1	15.7	0.5	53.4	4.8

数値は%



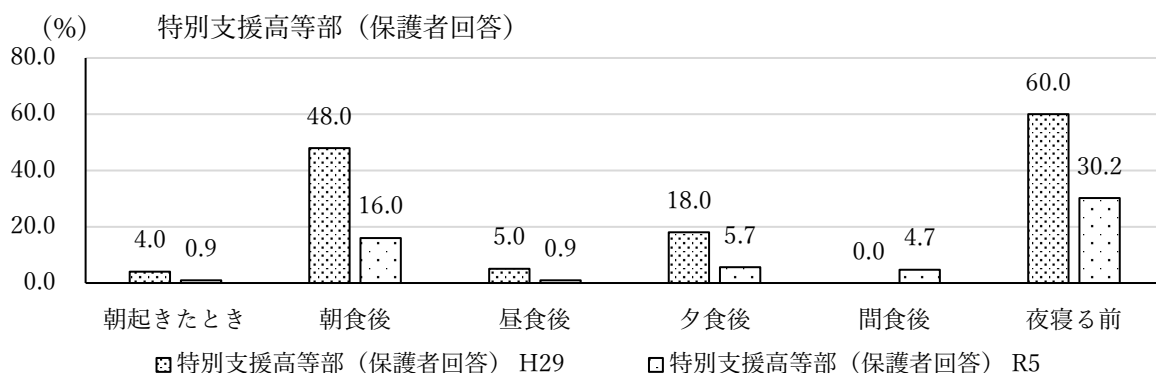
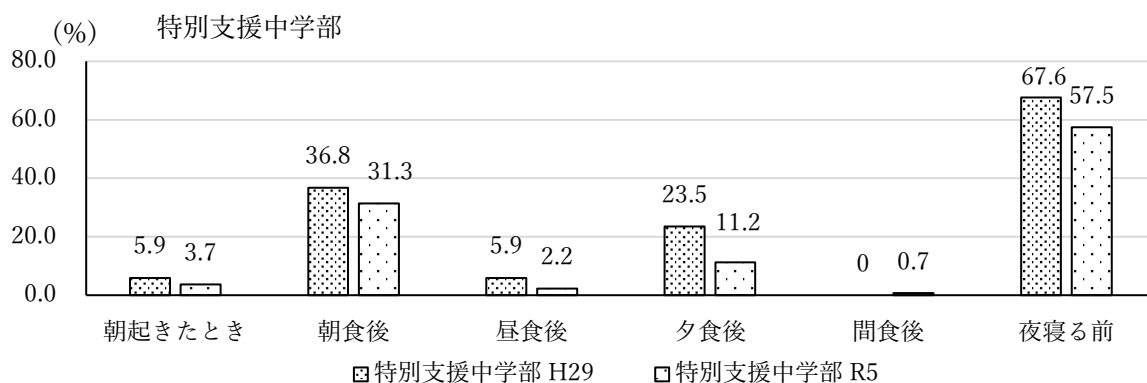
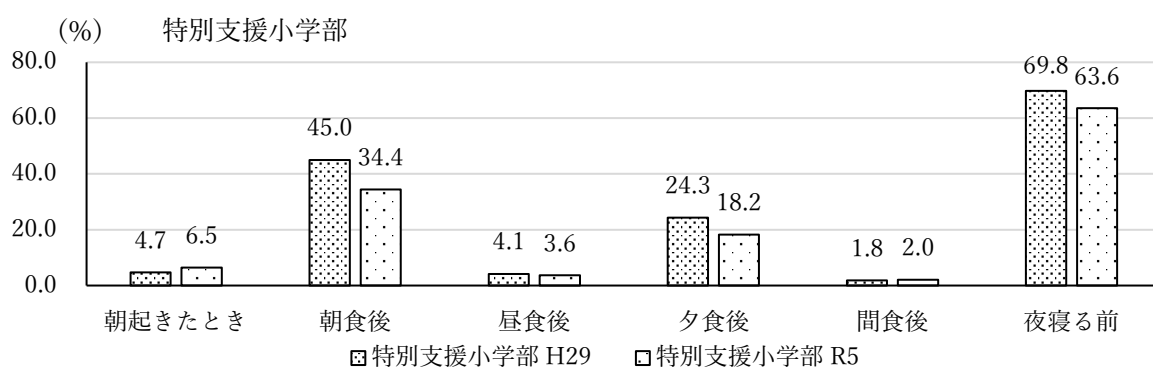
【特別支援学校の部】

今回の調査では、小学部・中学部・高等部（保護者回答）では、「夜寝る前」の割合が、それぞれ63.6%・57.5%・30.2%と最も高い結果であった。次いで、「朝食後」、「夕食後」となっている。

平成29年度調査との比較では、小学部で「夜寝る前」の割合が、小学部で6.2ポイント、中学部で10.1ポイント、高等部（保護者回答）で29.8ポイント減少している。

	朝起きたとき	朝食後	昼食後	夕食後	間食後	夜寝る前	無回答
小学部	6.5	34.4	3.6	18.2	2.0	63.6	6.5
中学部	3.7	31.3	2.2	11.2	0.7	57.5	6.0
高等部 （保護者回答）	0.9	16.0	0.9	5.7	4.7	30.2	4.7

数値は%



(7) 歯みがき状況

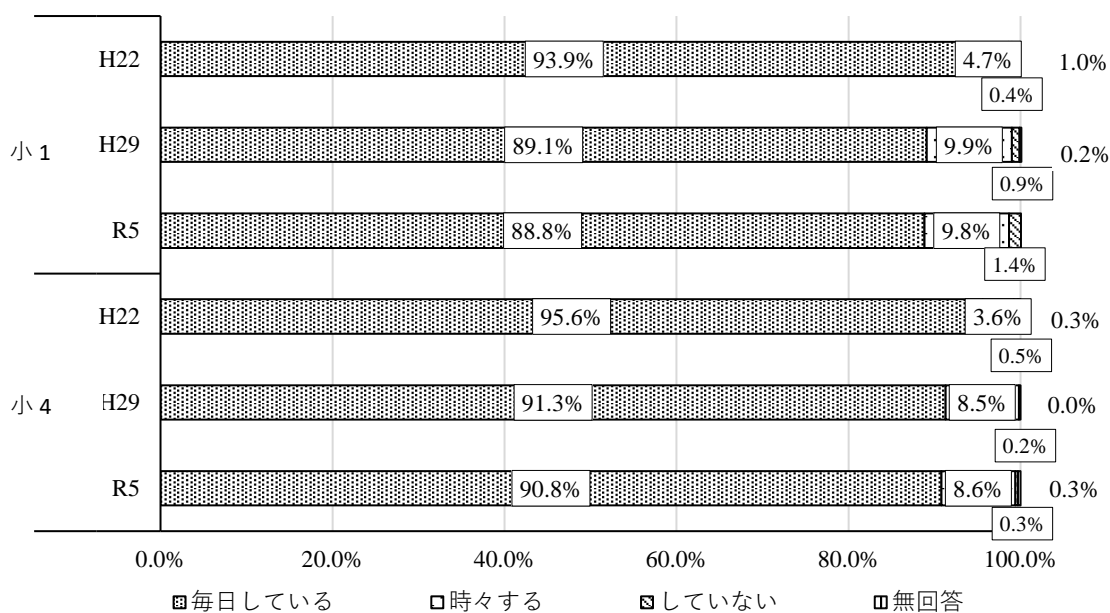
自分で歯みがきをしていますか。

【小学校の部】

今回の調査では、全体で見ると、「毎日している」の割合が、89.8%で最も高く、次いで、「時々する」が9.2%、「していない」が0.9%であった。

第1学年・第4学年でも「毎日している」の割合が、それぞれ88.8%・90.8%と最も高い結果であった。経年的な変化をみると、第1学年・第4学年で、「毎日している」の割合が減少傾向となっている。平成29年度調査との比較では、「毎日している」の割合は、ほとんど変化が認められなかった。

	小学校第1学年		小学校第4学年		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%
毎日している	497	88.8	551	90.8	1048	89.8
時々する	55	9.8	52	8.6	107	9.2
していない	8	1.4	2	0.3	10	0.9
無回答	0	0.0	2	0.3	2	0.2



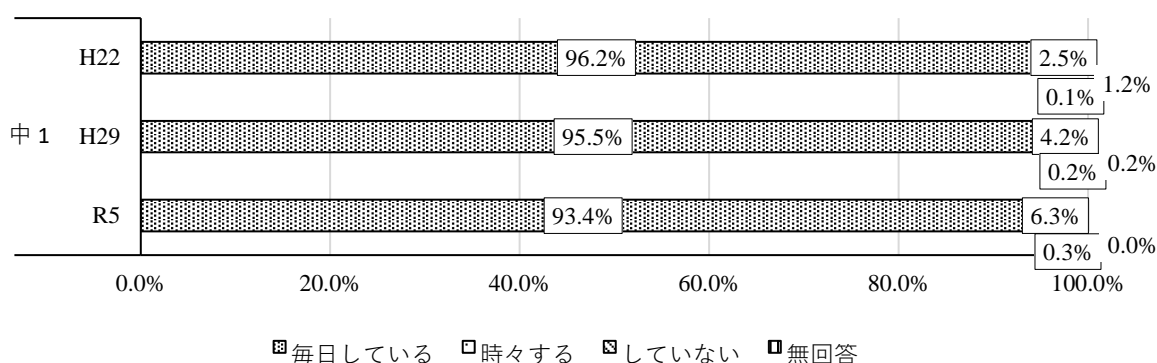
【中学校の部】

今回の調査では、「毎日している」の割合が、93.4%で最も高く、次いで、「時々する」が6.3%、「していない」が0.3%であった。

経年的な変化をみると、「毎日している」の割合は、減少しているが、「していない」の割合については、大きな変化は認められない。

平成29年度調査との比較では、「毎日している」の割合が、2.1ポイント減少している。

	中学校第1学年	
	人数	%
毎日している	582	93.4
時々する	39	6.3
していない	2	0.3
無回答	0	0.0



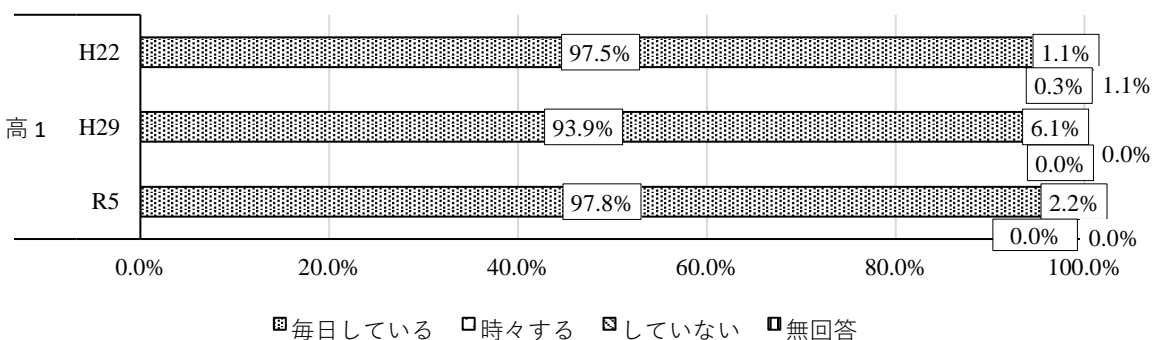
【高校の部】

今回の調査では、全体でみると、「毎日している」の割合が、97.8%で最も高く、次いで、「時々する」が2.2%であった。

経年的な変化をみると、それぞれの割合について、大きな変化はみられない。

平成29年度調査との比較では、「毎日している」の割合が、3.9ポイント増加している。

	高等学校第1学年	
	人数	%
毎日している	310	97.8
時々する	7	2.2
していない	0	0.0
無回答	0	0.0



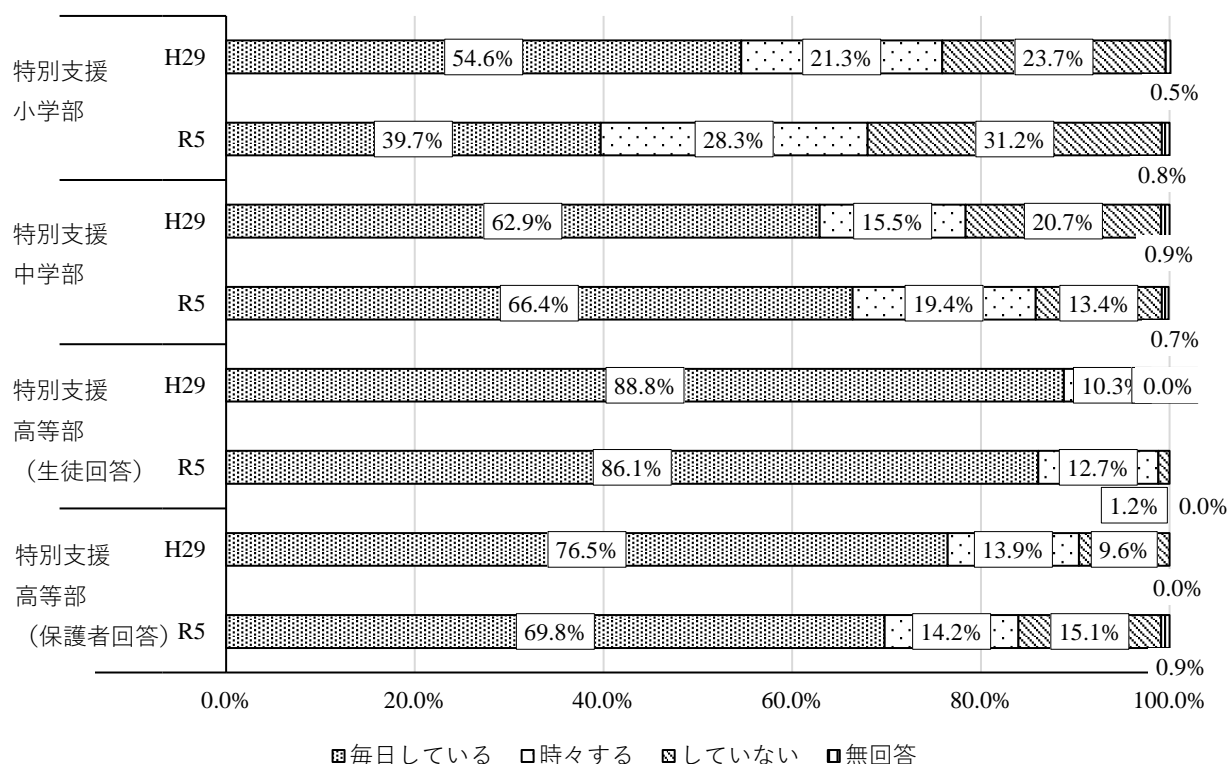
【特別支援学校の部】

今回の調査では、全体で見ると、「毎日している」の割合が、62.1%で最も高く、次いで、「時々する」が20.2%、「していない」が17.1%であった。

「毎日している」の割合は、小学部 39.7%、中学部 66.4%、高等部(生徒回答)86.1%、高等部(保護者回答)69.8%であった。

平成29年度調査との比較では、「毎日している」の割合は、小学部で14.9ポイント、高等部(生徒回答)で2.7ポイント、高等部(保護者回答)で6.7ポイント減少しているが、中学部では3.5ポイント増加している。

	特別支援小学部		特別支援中学部		特別支援高等部(生徒回答)		特別支援高等部(保護者回答)		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
毎日している	98	39.7	89	66.4	149	86.1	74	69.8	410	62.1
時々する	70	28.3	26	19.4	22	12.7	15	14.2	133	20.2
していない	77	31.2	18	13.4	2	1.2	16	15.1	113	17.1
無回答	2	0.8	1	0.7	0	0.0	1	0.9	4	0.6



(7-1) 歯みがきの時間帯

＜歯みがきを「毎日している」と答えた方に＞

歯みがきをいつしていますか。あてはまるものにもくつでも○をつけてください。

【小学校の部】

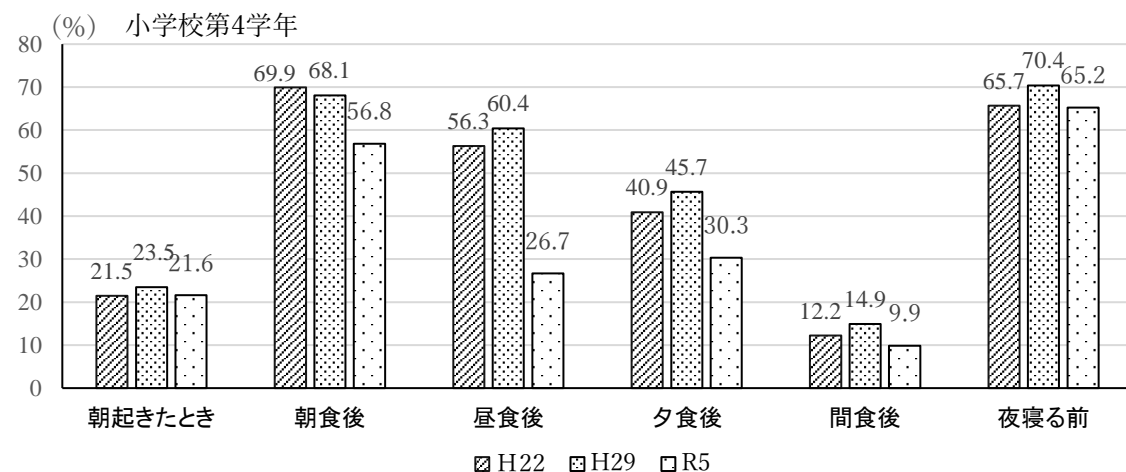
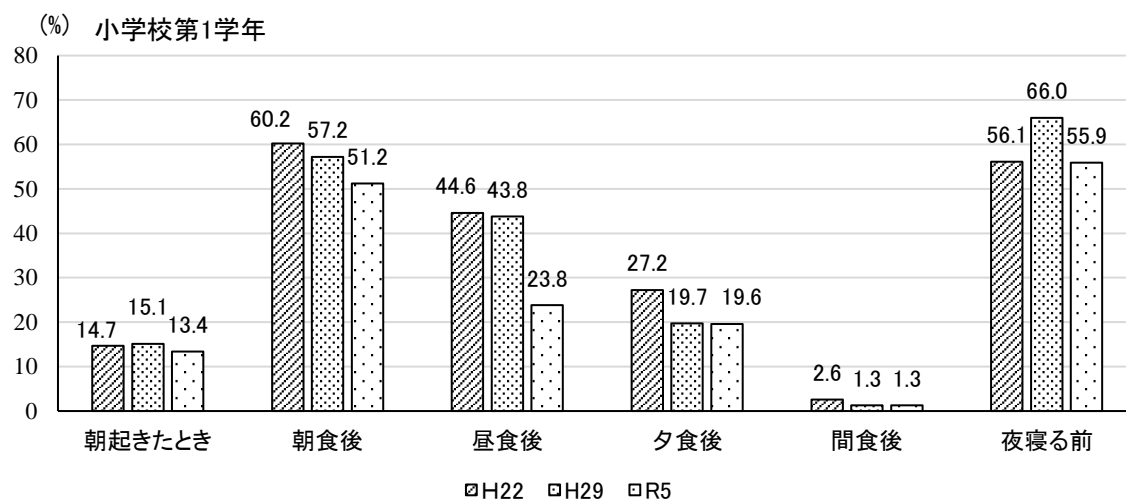
今回の調査では、第1学年・第4学年で「夜寝る前」の割合が、それぞれ55.9%・65.2%と最も高い結果であり、次いで、「朝食後」であった。

経年的な変化をみると、第1学年・第4学年で、「夜寝る前」や「朝食後」の割合が減少している。

平成29年度調査との比較では、「夜寝る前」の割合は、第1学年で10.1ポイント、第4学年で5.2ポイント減少している。

	朝起きたとき	朝食後	昼食後	夕食後	間食後	夜寝る前
小学校 第1学年	13.4	51.2	23.8	19.6	1.3	55.9
小学校 第4学年	21.6	56.8	26.7	30.3	9.9	65.2

数値は%



【中学校の部】

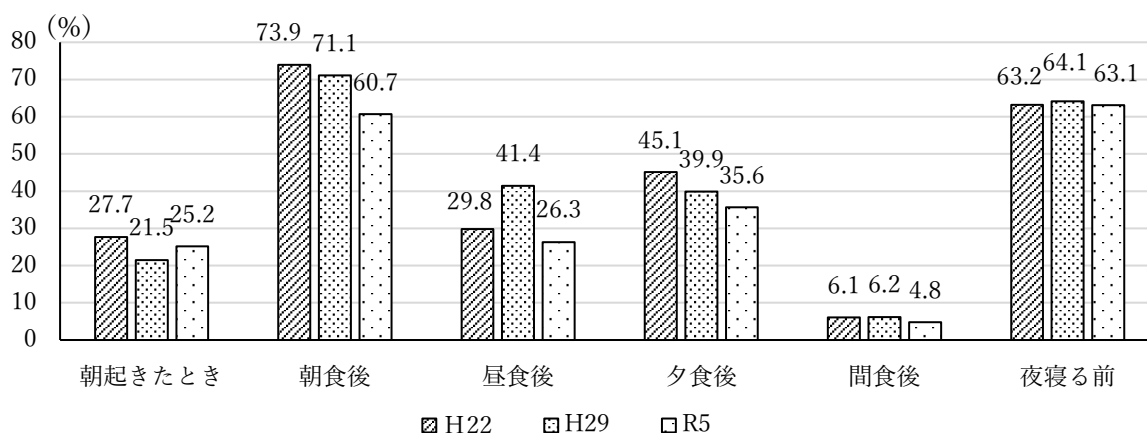
今回の調査では、「夜寝る前」の割合が、63.1%と最も高い結果であり、次いで、「朝食後」であった。

経年的な変化をみると、今回の調査以前は、「朝食後」の割合が最も高い結果であったが、「朝食後」の割合は調査ごとに減少している。一方で、「夜寝る前」の割合は大きな変化はみられない。

平成29年度調査との比較では、「朝食後」の割合は、10.4ポイント減少している。

	朝起きたとき	朝食後	昼食後	夕食後	間食後	夜寝る前
第1学年	25.2	60.7	26.3	35.6	4.8	63.1

数値は%



【高校の部】

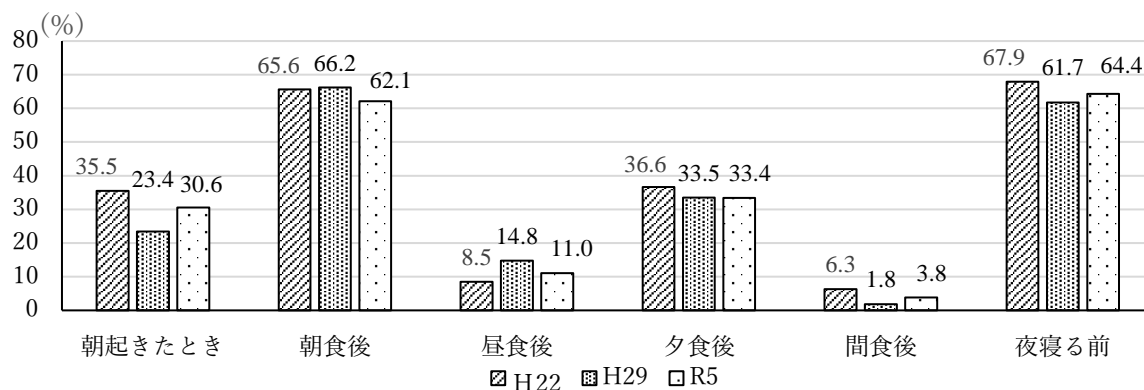
今回の調査では、「夜寝る前」の割合が、64.4%と最も高い結果であり、次いで「朝食後」であった。

経年的な変化をみると、年度によりそれぞれの時間帯で増減はみられるが、大きな変化はみられない。

平成29年度調査との比較では、「夜寝る前」の割合は、2.7ポイント増加しており、「朝食後」の割合は、4.1ポイント減少している。

	朝起きたとき	朝食後	昼食後	夕食後	間食後	夜寝る前
第1学年	30.6	62.1	11.0	33.4	3.8	64.4

数値は%



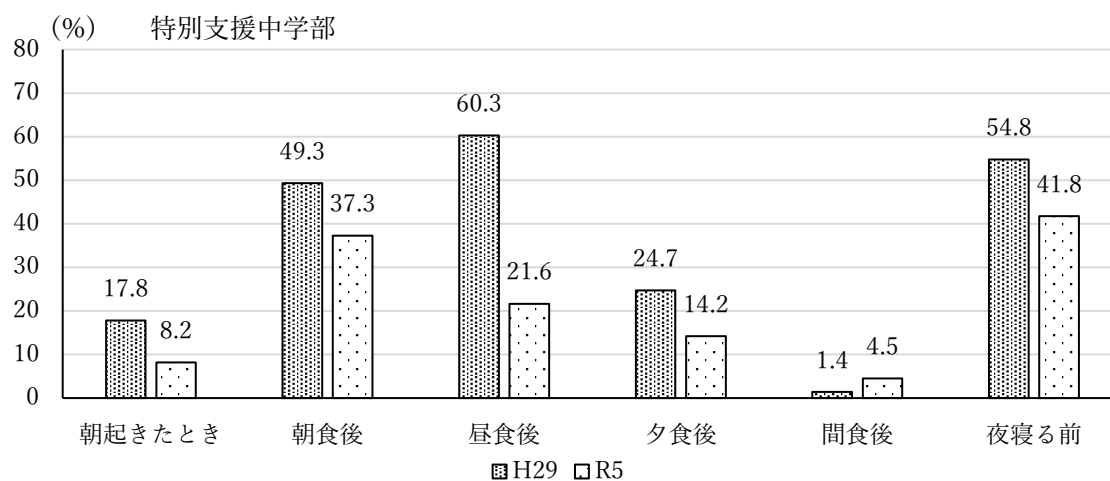
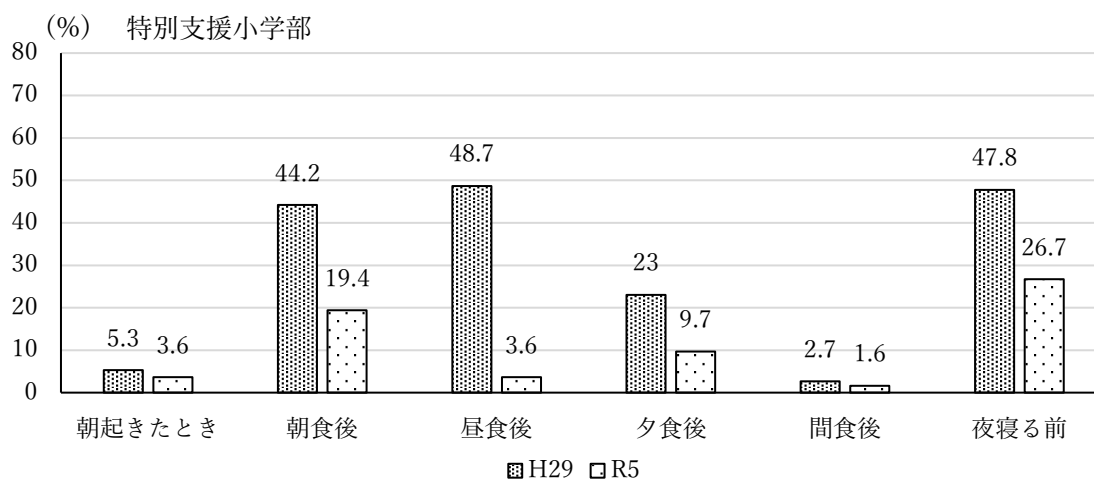
【特別支援学校の部】

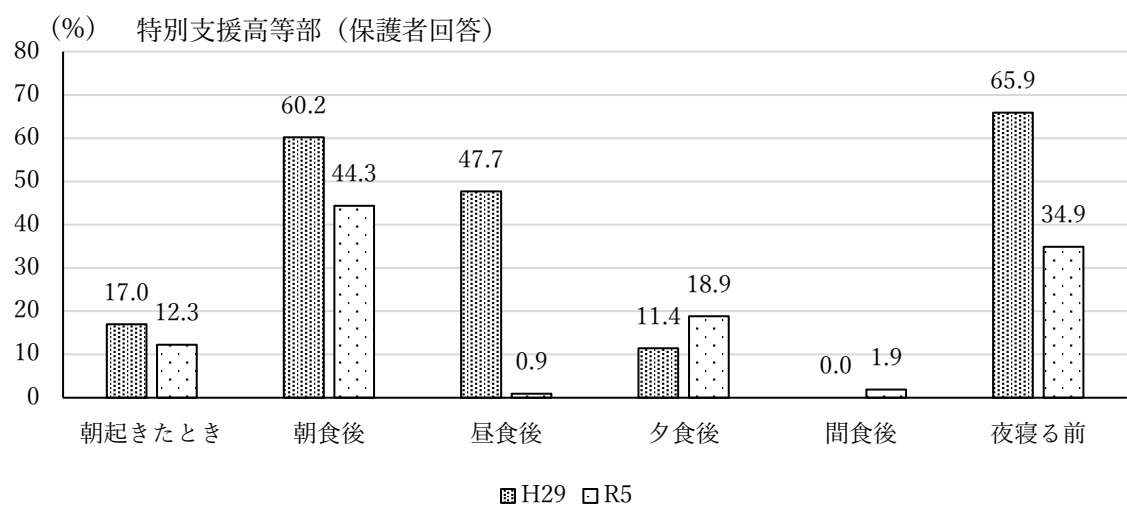
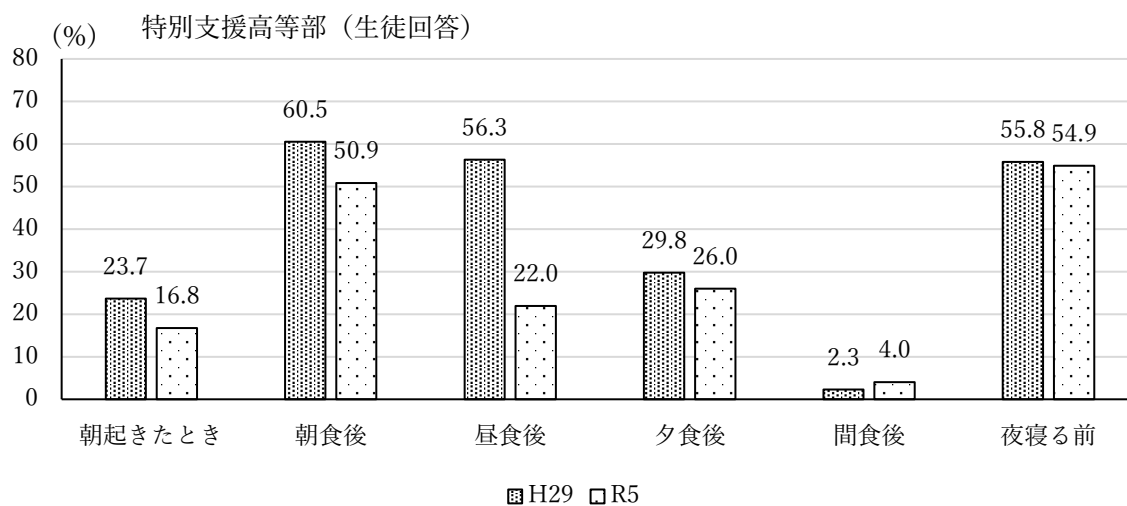
今回の調査では、小学部・中学部・高等部(生徒回答)においては、「夜寝る前」の割合が、それぞれ26.7%・41.8%・54.9%と最も高い結果であり、次いで、「朝食後」であった。一方、高等部(保護者回答)では、「朝食後」の割合が、44.3%と最も高い結果であり、次いで、「夜寝る前」であった。

平成29年度調査との比較では、小学部・中学部・高等部(生徒回答)・高等部(保護者回答)のいずれにおいても、「夜寝る前」や「朝食後」の割合が減少している。「夜寝る前」の割合は、小学部で21.1ポイント、中学部で13.0ポイント、高等部(保護者回答)で31.0ポイントと大きく減少している。

	朝起きたとき	朝食後	昼食後	夕食後	間食後	夜寝る前
特別支援小学部	3.6	19.4	3.6	9.7	1.6	26.7
特別支援中学部	8.2	37.3	21.6	14.2	4.5	41.8
特別支援高等部 (生徒回答)	16.8	50.9	22.0	26.0	4.0	54.9
特別支援高等部 (保護者回答)	12.3	44.3	0.9	18.9	1.9	34.9

数値は%





(8) 歯みがき剤の利用

歯みがき剤を使っていますか。

【小学校の部】

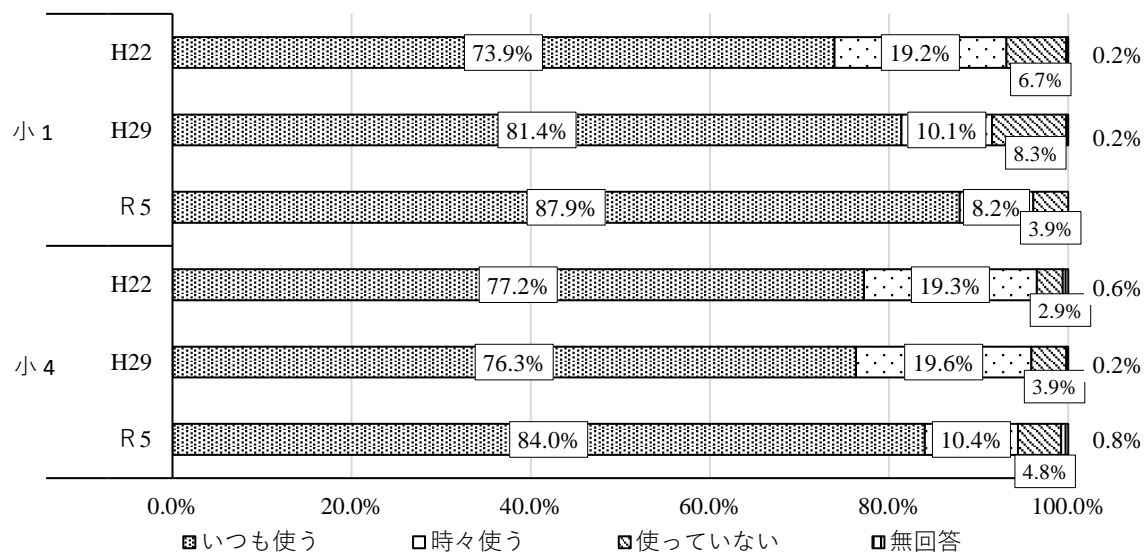
今回の調査では、全体でみると、「いつも使う」の割合が、85.9%で最も高く、次いで、「時々使う」が9.3%、「使っていない」が4.4%であった。

第1学年・第4学年でも「いつも使う」の割合が、それぞれ87.9%・84.0%と最も高い結果であった。

経年的な変化をみると、第1学年・第4学年で、「いつも使う」の割合が増加している。一方で、第4学年では、「使っていない」の割合もわずかであるが増加している。

平成29年度調査との比較では、「いつも使う」の割合が、第1学年で6.5ポイント、第4学年で7.7ポイント増加している。

	小学校第1学年		小学校第4学年		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%
いつも使う	492	87.9	510	84.0	1002	85.9
時々使う	46	8.2	63	10.4	109	9.3
使っていない	22	3.9	29	4.8	51	4.4
無回答	0	0.0	5	0.8	5	0.4



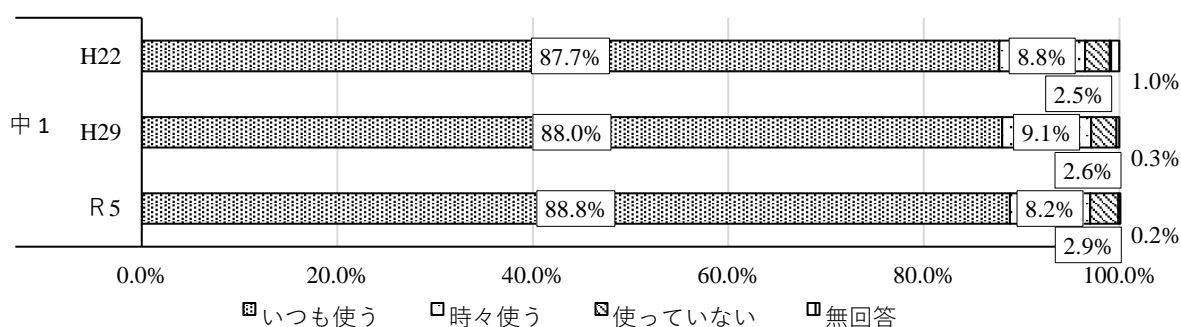
【中学校の部】

今回の調査では、「いつも使う」の割合が、88.8%で最も高く、次いで、「時々使う」が 8.2%、「使っていない」が 2.9%であった。

経年的な変化をみると、「いつも使う」、「使っていない」の割合は、ともに大きな変化は認められない。

平成 29 年度調査との比較では、いずれもほぼ同じ割合であり変化はみられない。

	中学校第1学年	
	人数	%
いつも使う	553	88.8
時々使う	51	8.2
使っていない	18	2.9
無回答	1	0.2



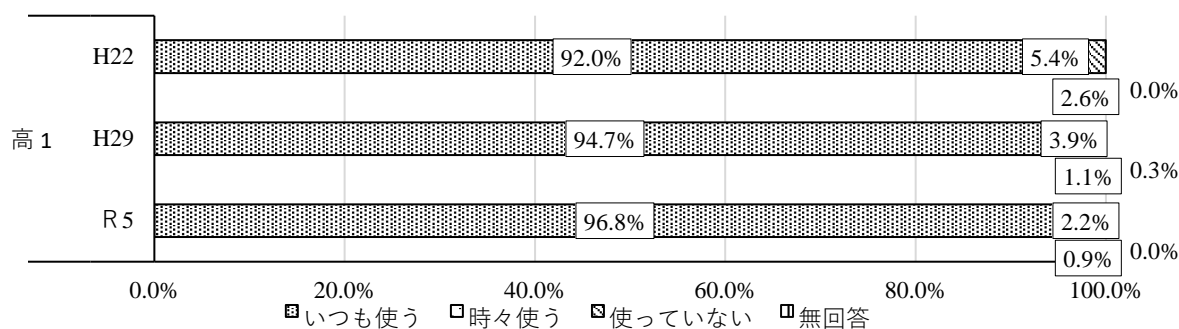
【高校の部】

今回の調査では、「いつも使う」の割合が、96.8%で最も高く、次いで、「時々使う」が 2.2%、「使っていない」が 0.9%であった。

経年的な変化をみると、「使っていない」の割合については、減少している。

平成 29 年度調査との比較では、「いつも使う」の割合が、2.1 ポイント増加しており、一方で「時々使う」の割合は、1.7 ポイント減少している。

	高等学校第1学年	
	人数	%
いつも使う	307	96.8
時々使う	7	2.2
使っていない	3	0.9
無回答	0	0.0



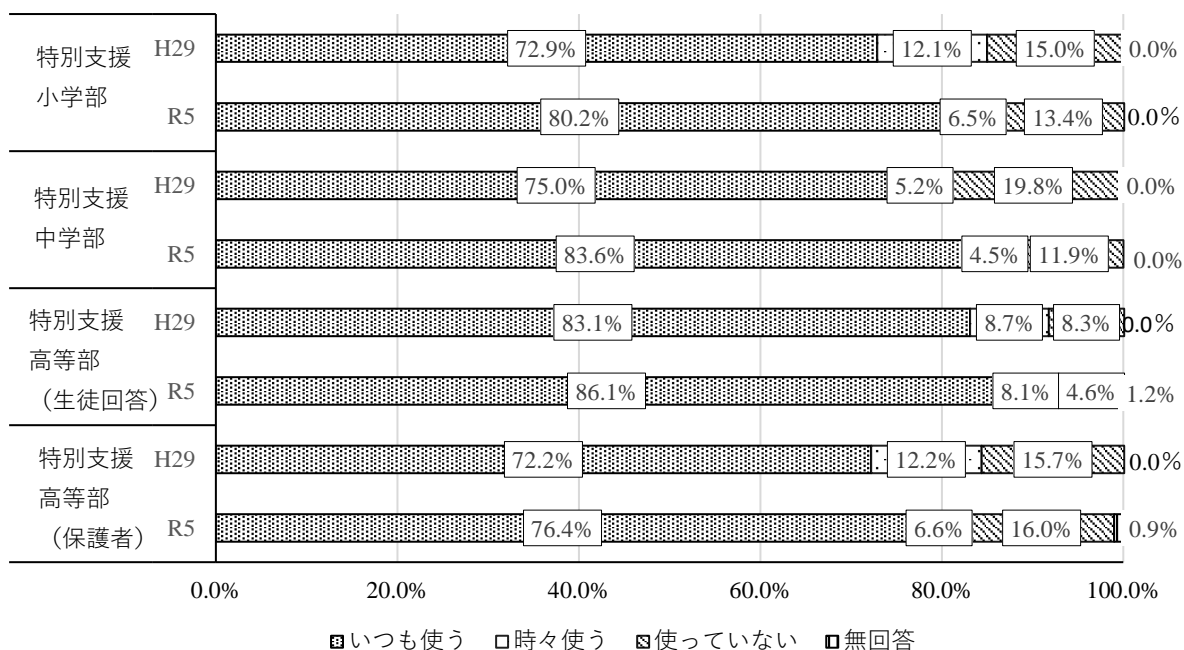
【特別支援学校の部】

今回の調査では、全体で見ると、「いつも使う」の割合が、81.8%で最も高く、次いで、「使っていない」が11.2%、「時々使う」が6.5%であった。

小学部・中学部・高等部(保護者回答)に比べて、高等部(生徒回答)の「使っていない」の割合が、低い結果であった。

平成29年度調査との比較では、「いつも使う」の割合が、小学部で7.3ポイント、中学部で8.6ポイント、高等部(保護者回答)で4.2ポイント増加し、高等部(生徒回答)で27.6ポイント減少している。

	特別支援小学部		特別支援中学部		特別支援高等部(生徒回答)		特別支援高等部(保護者回答)		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
いつも使う	198	80.2	112	83.6	149	86.1	81	76.4	540	81.8
時々使う	16	6.5	6	4.5	14	8.1	7	6.6	43	6.5
使っていない	33	13.4	16	11.9	8	4.6	17	16.0	74	11.2
無回答	0	0.0	0	0.0	2	1.2	1	0.9	3	0.5



(9) フッ素入り歯みがき剤の利用

フッ素入り歯みがき剤を使っていますか。

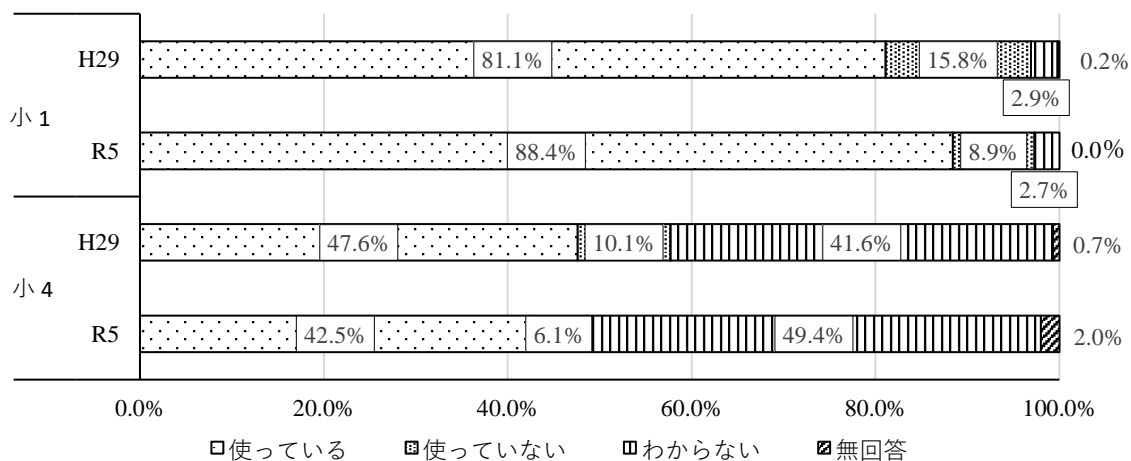
【小学校の部】

今回の調査では、全体でみると、「使っている」の割合が、64.5%で最も高く、次いで、「わからない」が27.0%、「使っていない」が7.5%であった。

第1学年では、「使っている」の割合が、88.4%と最も高い結果であった。一方で、第4学年では、「使っている」の割合も42.5%を示したが、「わからない」の割合が49.4%で最も高い割合であった。

平成29年度調査との比較では、「使っている」の割合が、第1学年で8.1ポイント増加し、第4学年で5.1ポイント減少している。

	小学校第1学年		小学校第4学年		全 体	
	人数	%	人数	%	人数	%
使っている	495	88.4	258	42.5	753	64.5
使っていない	50	8.9	37	6.1	87	7.5
わからない	15	2.7	300	49.4	315	27.0
無回答	0	0.0	12	2.0	12	1.0

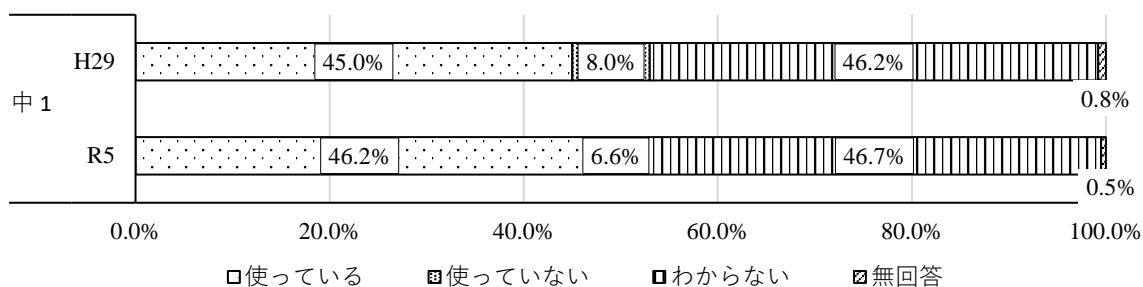


【中学校の部】

今回調査では、「使っている」の割合も 46.2% を示したが、「わからない」の割合が 46.7% で最も高い割合であった。

平成 29 年度調査との比較では、「使っている」の割合が、1.2 ポイント増加している。

	中学校第1学年	
	人数	%
使っている	288	46.2
使っていない	41	6.6
わからない	291	46.7
無回答	3	0.5

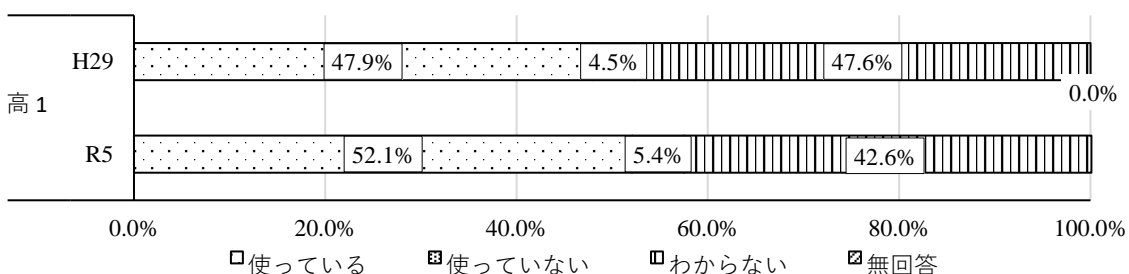


【高校の部】

今回の調査では、「使っている」の割合が、52.1% と最も高い結果であったが、「わからない」の割合も 42.6% と高い結果であった。

平成 29 年度調査との比較では、「使っている」の割合が、4.2 ポイント増加し、「わからない」の割合は 5.0 ポイント減少している。

	高等学校第1学年	
	人数	%
使っている	165	52.1
使っていない	17	5.4
わからない	135	42.6
無回答	0	0.0



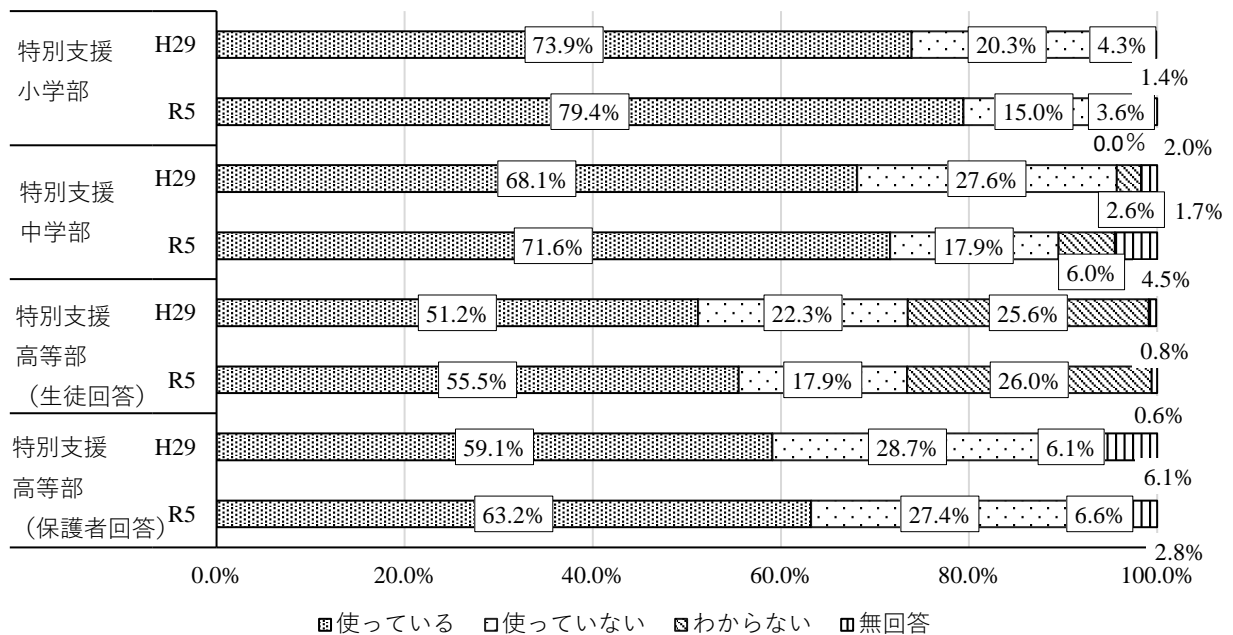
【特別支援学校の部】

今回の調査では、全体で見ると、「使っている」の割合が、68.9%で最も高く、次いで、「使っていない」が18.3%、「わからない」が10.5%であった。

小学部・中学部・高等部(生徒回答)・高等部(保護者回答)では、「使っている」の割合が、それぞれ79.4%・71.6%・55.5%・63.2%と最も高い結果であった。また、高等部(生徒回答)では「わからない」の割合が26.0%と高い結果であった。

平成29年度調査との比較では、「使っている」の割合が、小学部5.5ポイント、中学部で3.5ポイント、高等部(生徒回答)で4.3ポイント、高等部(保護者回答)で4.1ポイント増加している。

	特別支援小学部		特別支援中学部		特別支援高等部(生徒回答)		特別支援高等部(保護者回答)		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
使っている	196	79.4	96	71.6	96	55.5	67	63.2	455	68.9
使っていない	37	15.0	24	17.9	31	17.9	29	27.4	121	18.3
わからない	9	3.6	8	6.0	45	26.0	7	6.6	69	10.5
無回答	5	2.0	6	4.5	1	0.6	3	2.8	15	2.3



(10) 歯みがき剤の選択にフッ素入りを考慮しているか

歯みがき剤を選ぶときに、フッ素入りを考慮していますか。

【小学校の部】

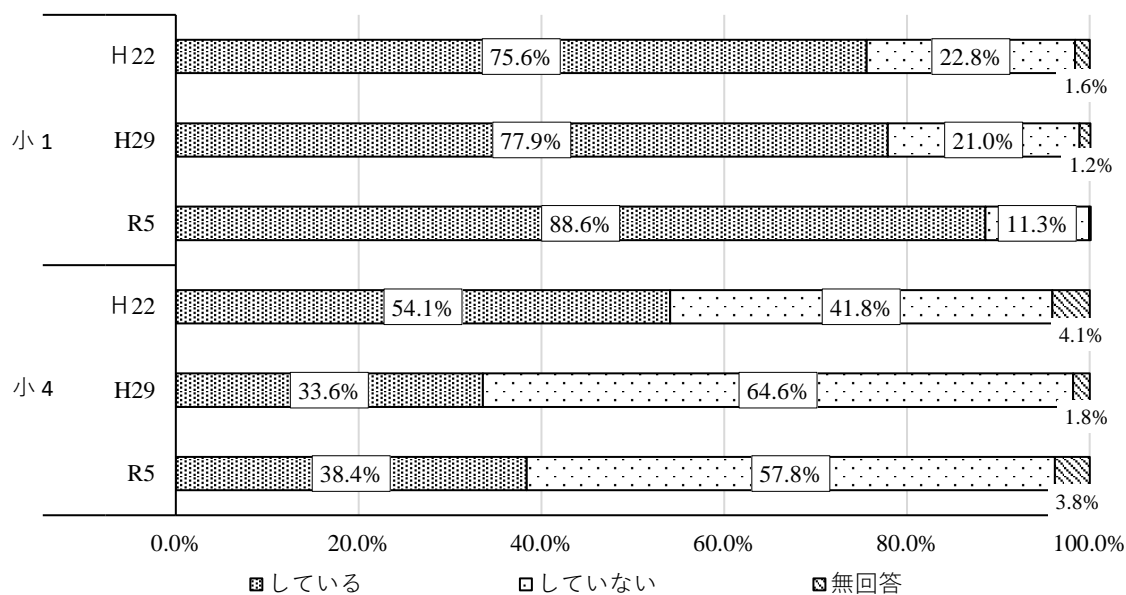
今回の調査では、全体で見ると、「している」の割合が、62.5%で最も高く、「していない」の割合は、35.4%であった。

第1学年では、「している」の割合は88.6%であり、「していない」の割合は11.3%であった。一方、第4学年では、「している」(38.4%)の割合よりも「していない」の割合(57.8%)が高い結果であった。

経年的な変化をみると、「している」の割合については、第1学年では増加しているが、第4学年では減少傾向であった。

平成29年度調査との比較では、「している」の割合は、第1学年で10.7ポイント、第4学年で4.8ポイント増加している。

	小学校第1学年		小学校第4学年		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%
している	496	88.6	233	38.4	729	62.5
していない	63	11.3	351	57.8	414	35.4
無回答	1	0.2	23	3.8	24	2.1



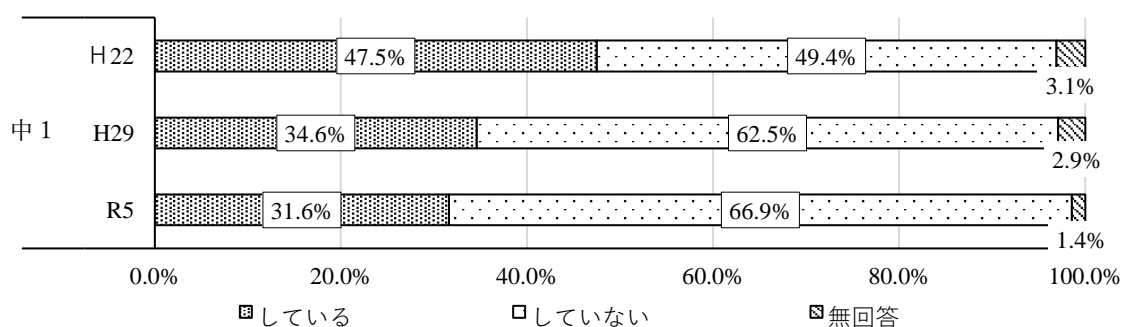
【中学校の部】

今回調査では、「している」の割合が 31.6%、「していない」の割合が 66.9%であった。

経年的な変化をみると、「している」の割合については、減少傾向であり、「していない」の割合は増加傾向であった。

平成 29 年度調査との比較では、「している」の割合が、3.0 ポイント減少し、「していない」の割合は、4.4 ポイント増加している。

	中学校第1学年	
	人数	%
している	197	31.6
していない	417	66.9
無回答	9	1.4



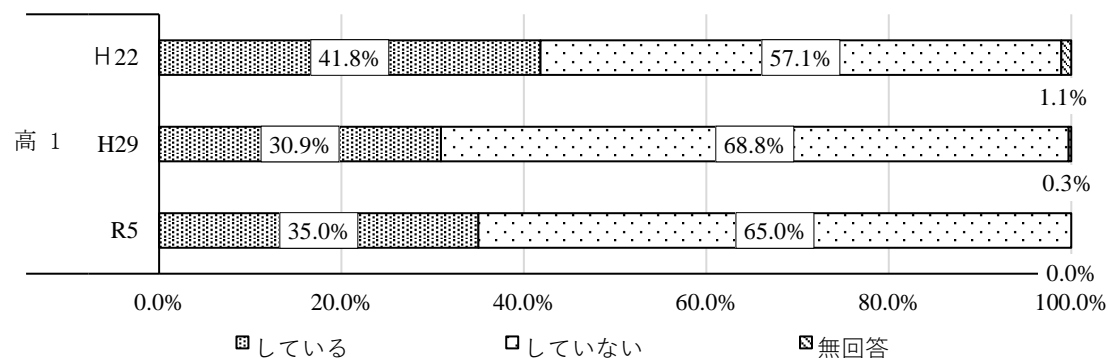
【高校の部】

今回調査では、「している」の割合が 35.0%、「していない」の割合が 65.0%であった。

経年的な変化をみると、「している」の割合については、減少傾向であり、「していない」の割合は増加傾向であった。

平成 29 年度調査との比較では、「している」の割合が、4.1 ポイント増加し、「していない」の割合は、3.8 ポイント減少している。

	高等学校第1学年	
	人数	%
している	111	35.0
していない	206	65.0
無回答	0	0.0

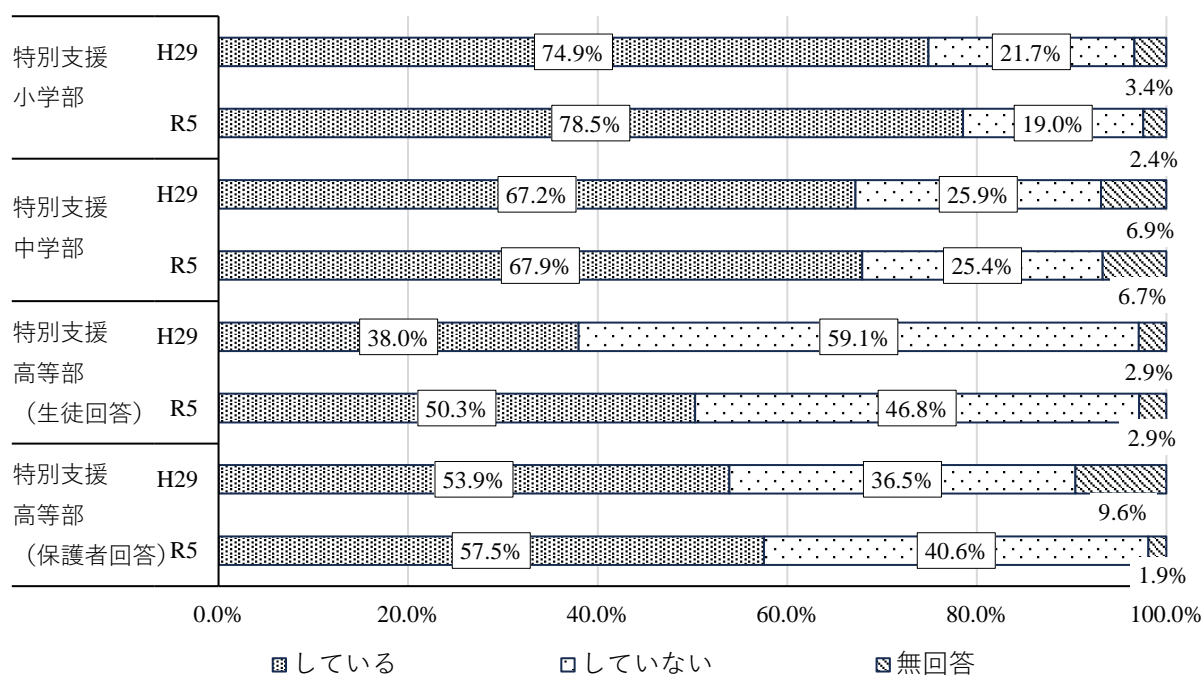


【特別支援学校の部】

今回の調査では、全体でみると、「している」の割合が、65.6%で、「していない」の割合は、31.1%であった。「している」の割合については、小学部(78.5%)・中学部(67.9%)での割合が高い結果であった。一方、高等部(生徒回答)・高等部(保護者回答)では、「している」の割合が高いものの60%にはとどいていない。

平成29年度調査との比較では、「している」の割合は、高等部(生徒回答)で12.3ポイントとやや大きい増加であったが、小学部、中学部、高等部(生徒回答)について、増加しているもののその差はわずかであった。

	特別支援小学部		特別支援中学部		特別支援高等部(生徒回答)		特別支援高等部(保護者回答)		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
している	194	78.5	91	67.9	87	50.3	61	57.5	433	65.6
していない	47	19.0	34	25.4	81	46.8	43	40.6	205	31.1
無回答	6	2.4	9	6.7	5	2.9	2	1.9	22	3.3



(11) デンタルフロスの利用

(中学校第1学年、高等学校第1学年のみ)

歯をみがくとき、デンタルフロス(糸ようじなど)を使うことがありますか。

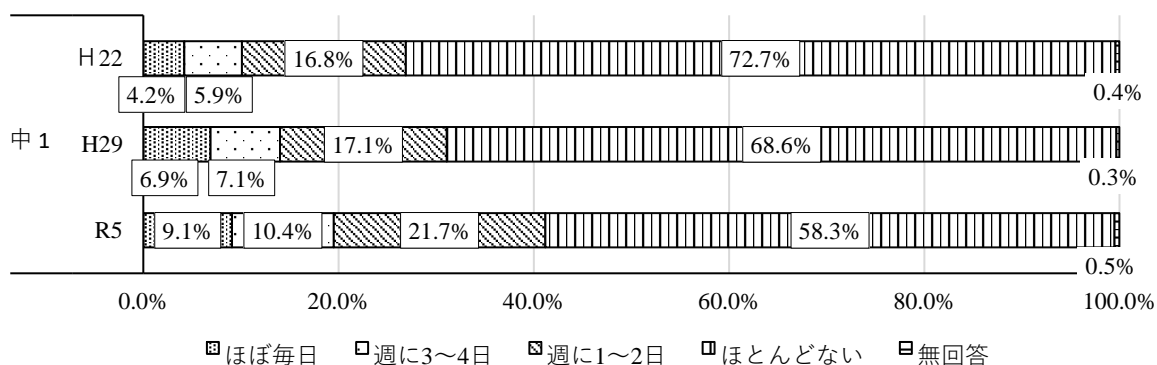
【中学校の部】

今回調査では、「ほとんどない」の割合が 58.3%と最も高く、次いで、「週に1～2日」が 21.7%、「週に3～4日」が 10.4%、「ほぼ毎日」が 9.1%であった。

経年的な変化をみると、「ほとんどない」が減少し、「週に1～2日」、「週に3～4日」、「ほぼ毎日」の割合が増加している。

平成29年度調査との比較では、「ほとんどない」の割合は、10.3ポイント減少している。また、「ほぼ毎日」の割合は2.2ポイント、「週に3～4日」の割合は3.3ポイント、「週に1～2日」の割合は4.6ポイント増加している。

	中学校第1学年	
	人数	%
ほぼ毎日	57	9.1
週に3～4日	65	10.4
週に1～2日	135	21.7
ほとんどない	363	58.3
無回答	3	0.5



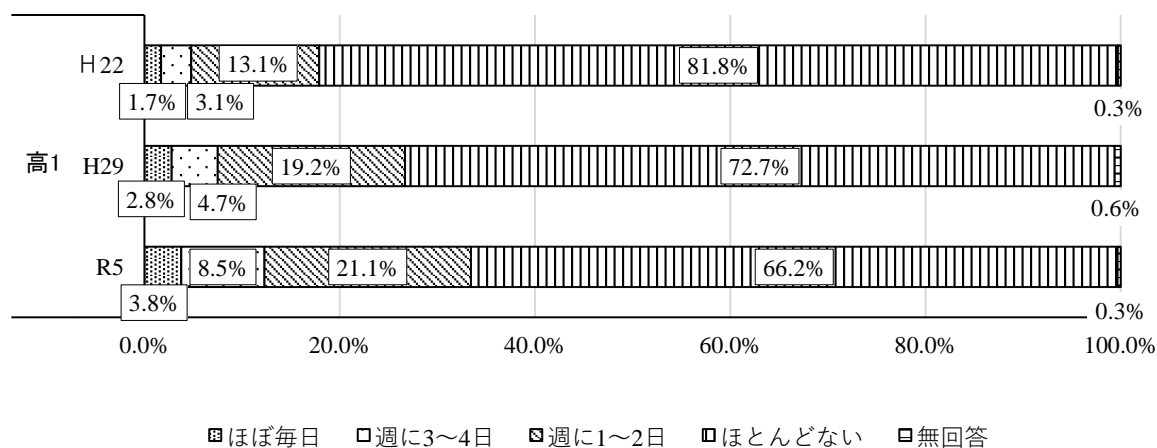
【高校の部】

今回調査では、「ほとんどない」の割合が 66.2%と最も高く、次いで、「週に 1～2 日」が 21.1%、「週に 3～4 日」が 8.5%、「ほぼ毎日」が 3.8%であった。

経年的な変化をみると、「ほとんどない」が減少し、「週に 1～2 日」、「週に 3～4 日」、「ほぼ毎日」の割合が増加している。

平成 29 年度調査との比較では、「ほとんどない」の割合は、6.5 ポイント減少している。また、「ほぼ毎日」の割合は 1.0 ポイント、「週に 3～4 日」の割合は 3.8 ポイント、「週に 1～2 日」の割合は 1.9 ポイント増加している。

	高等学校第 1 学年	
	人数	%
ほぼ毎日	12	3.8
週に 3～4 日	27	8.5
週に 1～2 日	67	21.1
ほとんどない	210	66.2
無回答	2	0.3



(12) 歯の健康への自信

小学校第4学年、中学校第1学年、高等学校第1学年、特別支援学校高等部(生徒回答)のみ
あなたは歯の健康に自信がありますか。

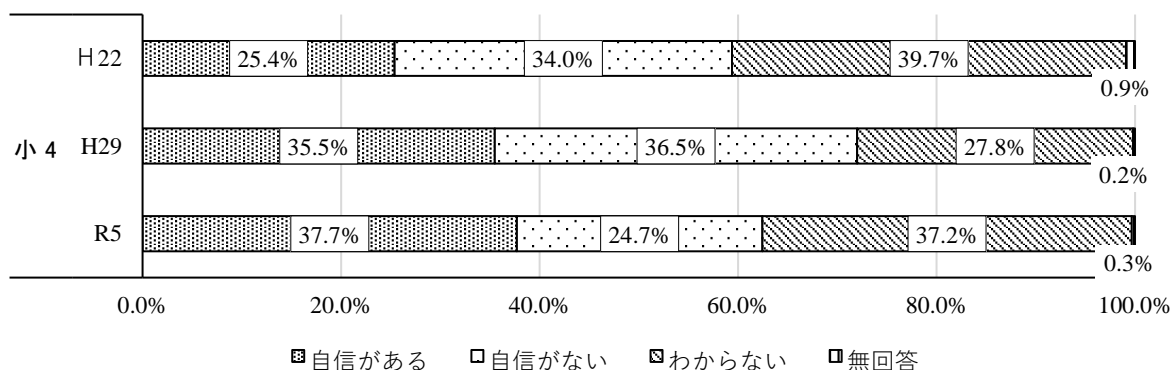
【小学校の部】

今回調査では、「自信がある」の割合が 37.7%と高く、次いで、「わからない」が 37.2%で、「自信がない」が 24.7%であった。「自信がある」が「自信がない」を上回っていた。

経年的な変化をみると、「自信がある」の割合が増加し、「自信がない」の割合が減少している。

平成 29 年度調査との比較では、「自信がある」の割合は、2.2 ポイント増加し、「自信がない」の割合は、11.8 ポイント減少している。

	小学校第 4 学年	
	人数	%
自信がある	229	37.7
自信がない	150	24.7
わからない	226	37.2
無回答	2	0.3



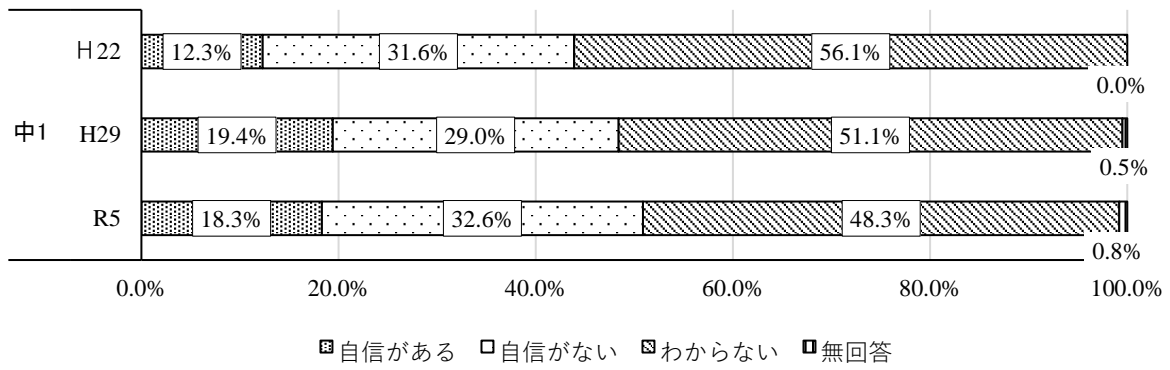
【中学校の部】

今回調査では、「わからない」の割合が 48.3%と最も高く、次いで、「自信がない」が 32.6%で、「自信がある」が 18.3%であり、「自信がない」(32.6%)が「自信がある」(18.3%)を上回っていた。

経年的な変化をみると、「自信がある」の割合が増加し、「わからない」の割合が減少している。

平成 29 年度調査との比較では、「自信がある」の割合は、1.1 ポイント、「わからない」の割合は、2.8 ポイント減少し、「自信がない」の割合は、3.6 ポイント増加している。

	中学校第 1 学年	
	人数	%
自信がある	114	18.3
自信がない	203	32.6
わからない	301	48.3
無回答	5	0.8



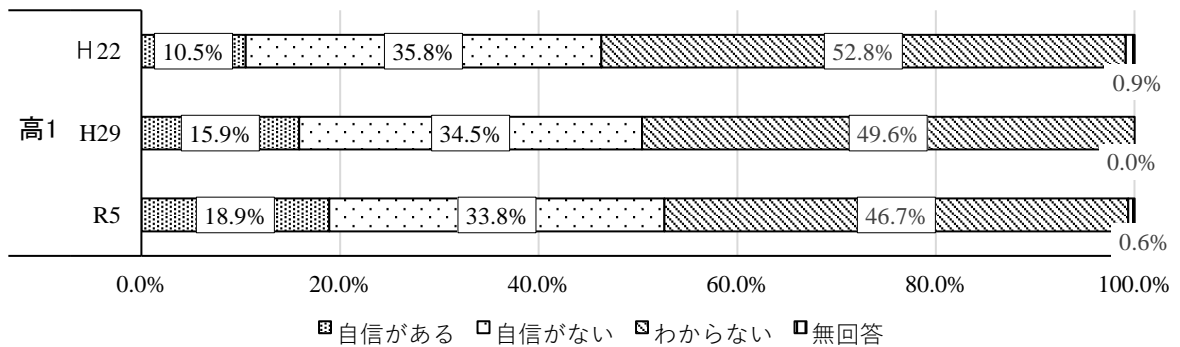
【高校の部】

今回調査では、「わからない」の割合が46.7%と最も高く、次いで、「自信がない」が33.8%で、「自信がある」が18.9%であり、「自信がない」(33.8%)が「自信がある」(18.9%)を上回っていた。

経年的な変化をみると、「自信がある」の割合が増加し、「自信がない」、「わからない」の割合が減少している。

平成29年度調査との比較では、「自信がある」の割合は、3.0ポイント増加し、「自信がない」の割合は、0.7ポイント減少している。

	高等学校第1学年	
	人数	%
自信がある	60	18.9
自信がない	107	33.8
わからない	148	46.7
無回答	2	0.6

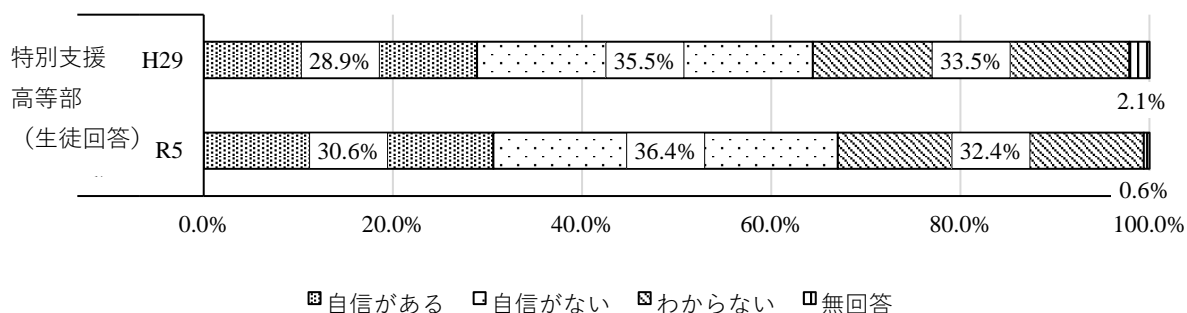


【特別支援学校の部】

今回調査では、「自信がない」の割合が 36.4%と最も高く、次いで、「わからない」が 32.4%で、「自信がある」が 30.6%であり、「自信がない」(36.4%)が「自信がある」(30.6%)を上回っていた。

平成 29 年度調査との比較では、「自信がある」の割合は、1.7 ポイント増加し、「自信がない」の割合も、ごくわずかに増加している。「わからない」はわずかに減少している。

	特別支援高等部(生徒回答)	
	人数	%
自信がある	53	30.6
自信がない	63	36.4
わからない	56	32.4
無回答	1	0.6



(13) 歯科医から受けている診査や処置

歯科医院等で次のようなことを受けたことがありますか。
受けている場合は、該当する項目にいくつでも○を付けてください。

【小学校の部】

今回調査では、歯科医院等で受けたことのある診査や処置については、第1学年・第4学年で「歯科健診(年1回以上)」の割合が、それぞれ70.2%・71.0%と最も高い結果であった。次いで、第1学年では、「フッ化物歯面塗布や洗口の指導」の割合が60.0%、「歯みがき指導」の割合が27.0%を示している。第4学年では、「フッ化物歯面塗布や洗口の指導」の割合が34.9%、「歯みがき指導」の割合が32.8%であった。

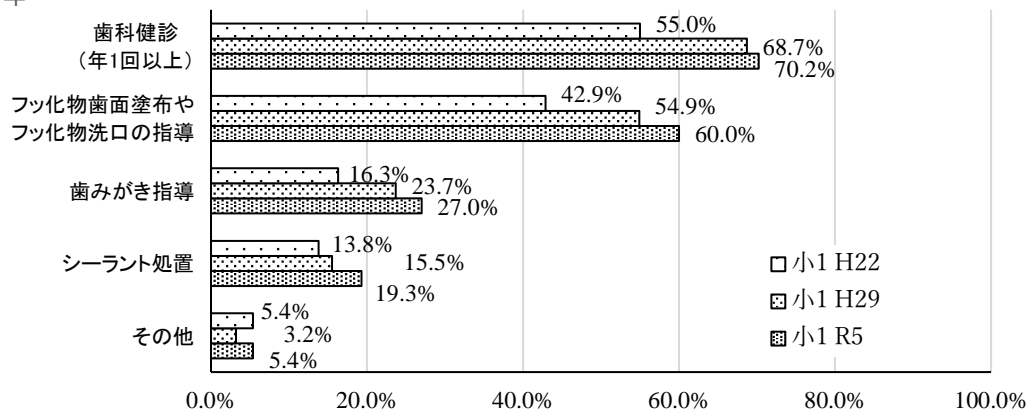
経年的な変化をみると、「歯科健診(年1回以上)」、「フッ化物歯面塗布や洗口の指導」、「歯みがき指導」、「シーラント処置」ともに、増加傾向にあり、最も増加傾向が高いのが「フッ化物歯面塗布や洗口の指導」であった。

平成29年度調査との比較では、「歯科健診(年1回以上)」の割合は、第1学年で1.5ポイント増加し、第4学年では大きな変化はみられなかった。

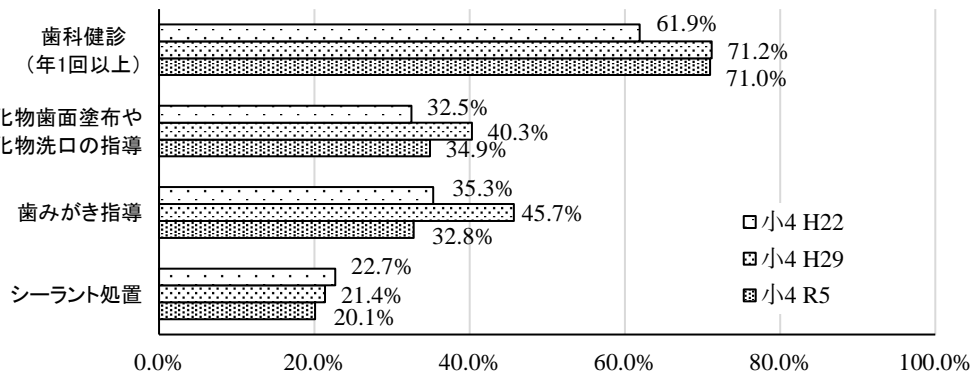
	歯科健診 (年1回以上)	フッ化物歯面塗布 やフッ化物洗口の 指導	歯みがき 指導	シーラント 処置	その他
小学校第1学年	70.2	60.0	27.0	19.3	5.4
小学校第4学年	71.0	34.9	32.8	20.1	選択肢なし

数値は%

小学校第1学年



小学校第4学年



【中学校の部】

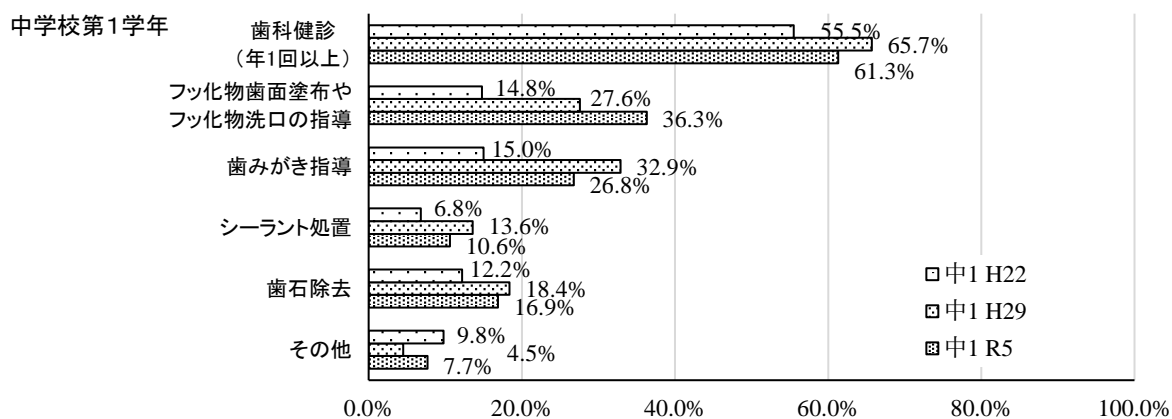
今回調査では、歯科医院等で受けたことのある診査や処置については、「歯科健診(年1回以上)」の割合が、61.3%と最も高い結果であった。次いで、「フッ化物歯面塗布や洗口の指導」の割合が36.3%、「歯みがき指導」の割合が26.8%を示した。

経年的な変化をみると、「フッ化物歯面塗布や洗口の指導」の割合に増加傾向がみられる。他の項目については、一方向の増減がみられない。

平成29年度調査との比較では、「歯科健診(年1回以上)」の割合は、4.4ポイント減少し、「フッ化物歯面塗布や洗口の指導」の割合は、8.7ポイント増加している。

	歯科健診 (年1回以上)	フッ化物歯面塗布 やフッ化物洗口の 指導	歯みがき 指導	シーラント 処置	歯石 除去	その他
中学第1学年	61.3	36.3	26.8	10.6	16.9	7.7

数値は%



【高校の部】

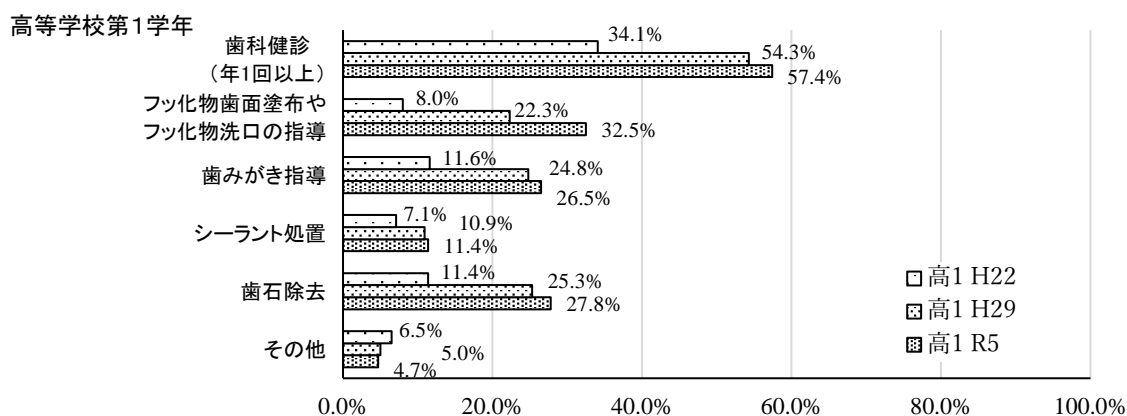
今回調査では、歯科医院等で受けたことのある診査や処置については、「歯科健診(年1回以上)」の割合が、57.4%と最も高い結果であった。次いで、「フッ化物歯面塗布や洗口の指導」の割合が32.5%、「歯石除去」の割合が27.8%を示した。

経年的な変化をみると、「歯科健診(年1回以上)」・「フッ化物歯面塗布や洗口の指導」・「歯みがき指導」・「シーラント処置」・「歯石除去」の割合が、調査ごとに増加している。

平成29年度調査との比較では、「歯科健診(年1回以上)」の割合は、3.1ポイント増加し、「フッ化物歯面塗布や洗口の指導」の割合は、10.2ポイント増加している。

	歯科健診 (年1回以上)	フッ化物歯面塗布 やフッ化物洗口の 指導	歯みがき 指導	シーラント 処置	歯石 除去	その他
高校第1学年	57.4	32.5	26.5	11.4	27.8	4.7

数値は%



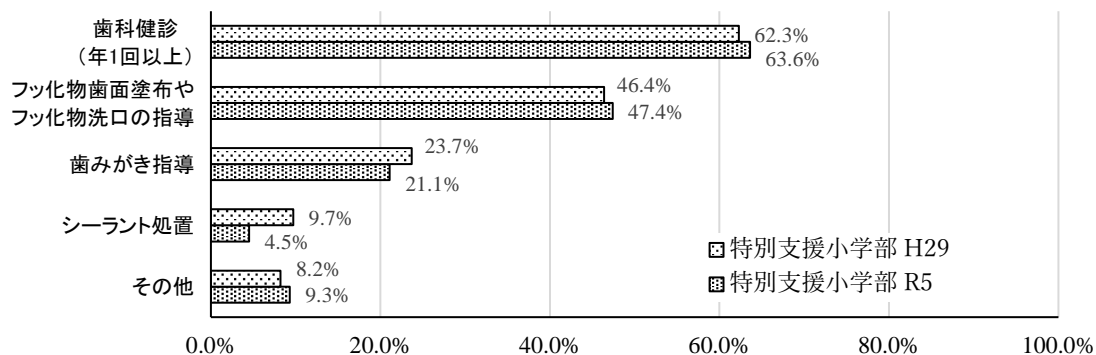
【特別支援学校の部】

今回調査では、歯科医院等で受けたことのある診査や処置については、小学部・中学部・高等部(生徒回答)・高等部(保護者回答)で「歯科健診(年1回以上)」の割合が、それぞれ 63.6%・68.7%・60.1%・57.5%と最も高い結果であった。その他では、小学部・中学部では、「フッ化物歯面塗布や洗口の指導」の割合が 47.4%・41.0%、「歯みがき指導」の割合が 21.2%・32.8%を示している。高等部(生徒回答)・高等部(保護者回答)では、「フッ化物歯面塗布や洗口の指導」の割合が 30.1%・40.6%、「歯みがき指導」の割合が 37.6%・26.4%であった。

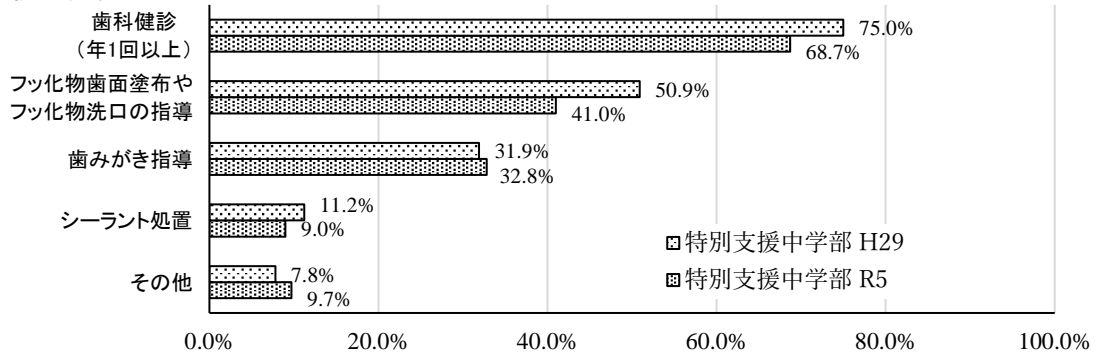
平成29年度調査との比較では、「歯科健診(年1回以上)」の割合は、小学部で1.3ポイント、高等部(生徒回答)で10.5ポイント増加し、中学部では6.3ポイント減少し、高等部(保護者回答)では、大きな変化はみられなかった。

	歯科健診 (年1回以上)	フッ化物歯面塗布 やフッ化物洗口の 指導	歯みがき 指導	シーラント 処置	その他
特別支援小学部	63.6	47.4	21.1	4.5	9.3
特別支援中学部	68.7	41.0	32.8	9.0	9.7
特別支援高等部 (生徒回答)	60.1	30.1	37.6	12.7	—
特別支援高等部 (保護者回答)	57.5	40.6	26.4	5.7	12.3

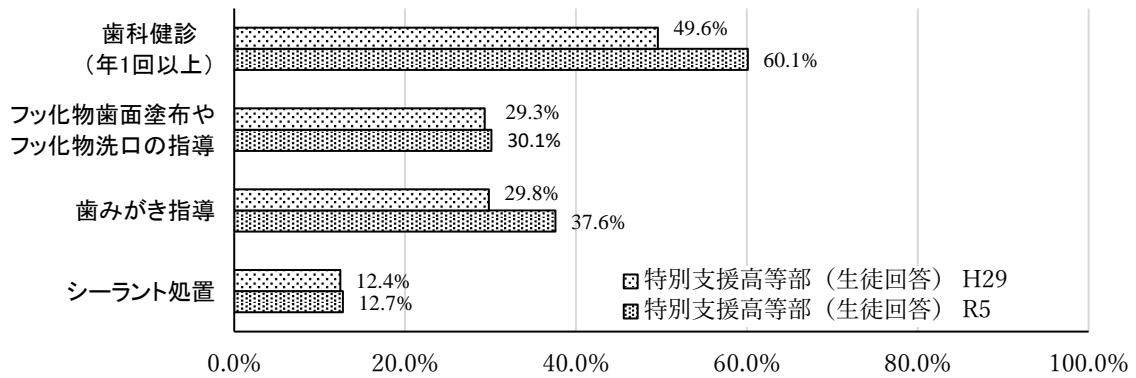
特別支援小学部



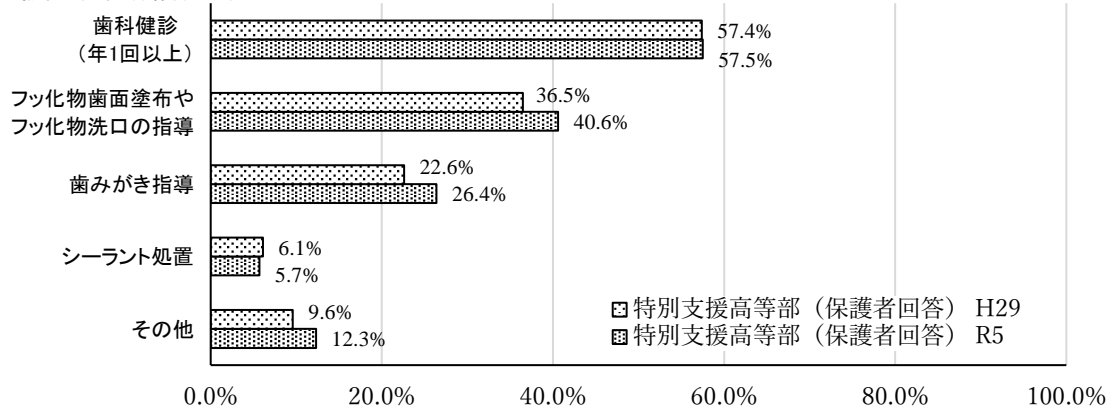
特別支援中学部



特別支援高等部(生徒回答)



特別支援高等部(保護者回答)



(14) 歯の健康についての悩みや気になること

歯や口の中について悩みや気になることがありますか。
該当する項目にいくつでも○を付けてください。

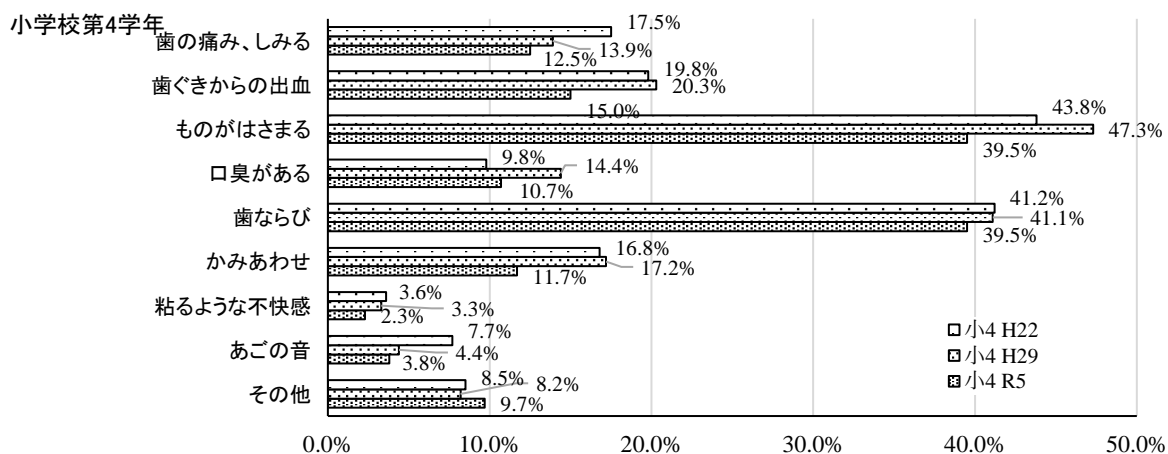
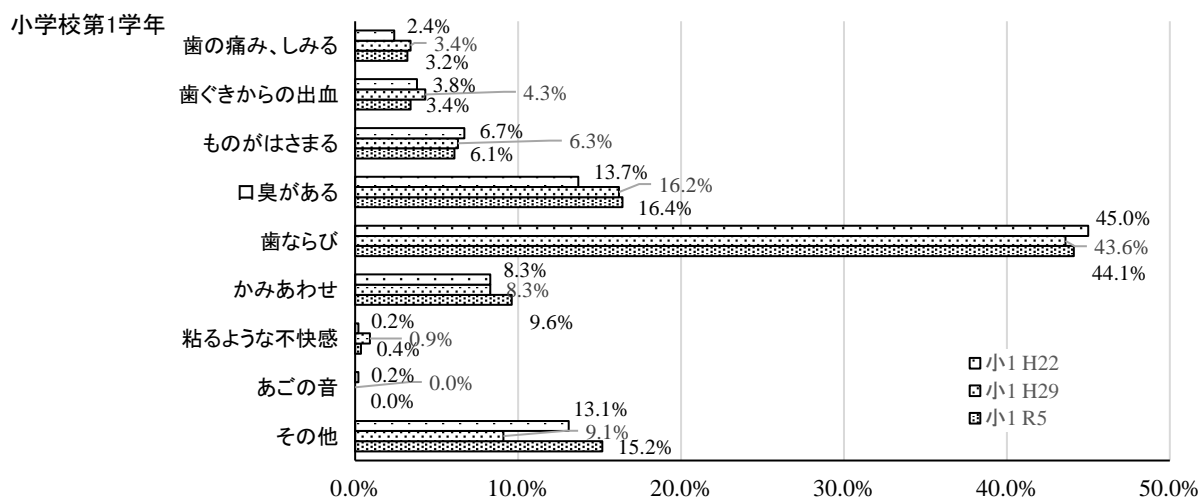
【小学校の部】

今回調査では、歯や口の中についての悩みについては、第1学年・第4学年で「歯ならび」の割合が、それぞれ 44.1%・39.5%と最も高い結果であった。第4学年では、「歯ならび」、「ものがはさまる」の割合がともに高い結果であった。

経年的な変化をみると、第1学年・第4学年ともに、大きな変化は認められなかった。

平成29年度調査との比較では、「歯ならび」の割合は、第1学年・第4学年ともに、大きな変化は認められなかった。

	歯の痛み、しみる	歯ぐきからの出血	ものがはさまる	口臭がある	歯ならび	かみあわせ	粘るような不快感	あごの音	その他
小学校第1学年	3.2	3.4	6.1	16.4	44.1	9.6	0.4	0.0	15.2
小学校第4学年	12.5	15.0	39.5	10.7	39.5	11.7	2.3	3.8	9.7



【中学校の部】

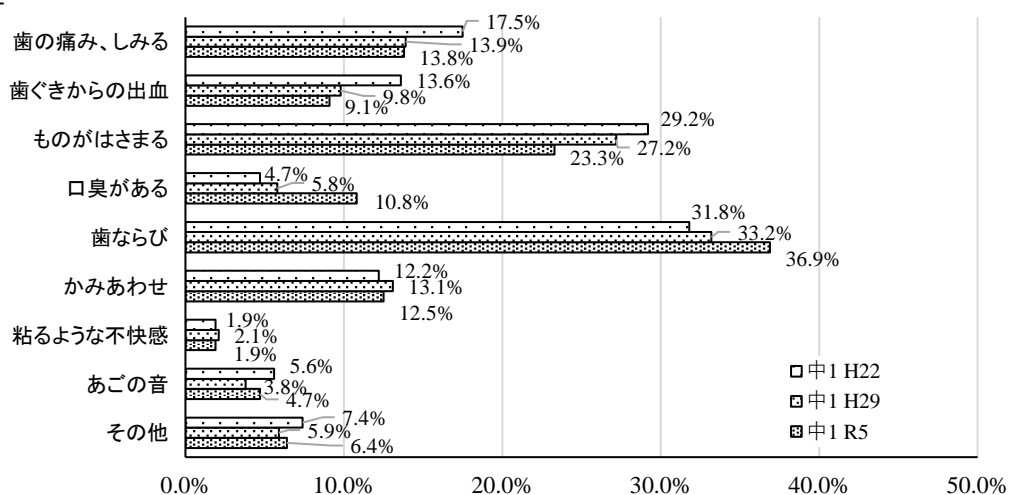
今回調査では、歯や口の中についての悩みについては、「歯ならび」の割合が、36.9%と最も高い結果であった。「歯ならび」とあわせて「ものがはさまる」(23.3%)・「歯が痛んだり、しみたりする」(13.8%)が高い結果であった。

経年的な変化をみると、「歯ならび」、「口臭がある」の割合は、増加傾向であり、「歯が痛んだり、しみたりする」、「歯ぐきから血が出たり、腫れる」、「ものがはさまる」は減少傾向である。

平成 29 年度調査との比較では、「歯ならび」の割合は、3.7 ポイント増加している。

	歯の痛み、しみる	歯ぐきからの出血	ものがはさまる	口臭がある	歯ならび	かみあわせ	快感 粘るような不	あごの音	その他
中学校第 1 学年	13.8	9.1	23.3	10.8	36.9	12.5	1.9	4.7	6.4

中学校第 1 学年



【高校の部】

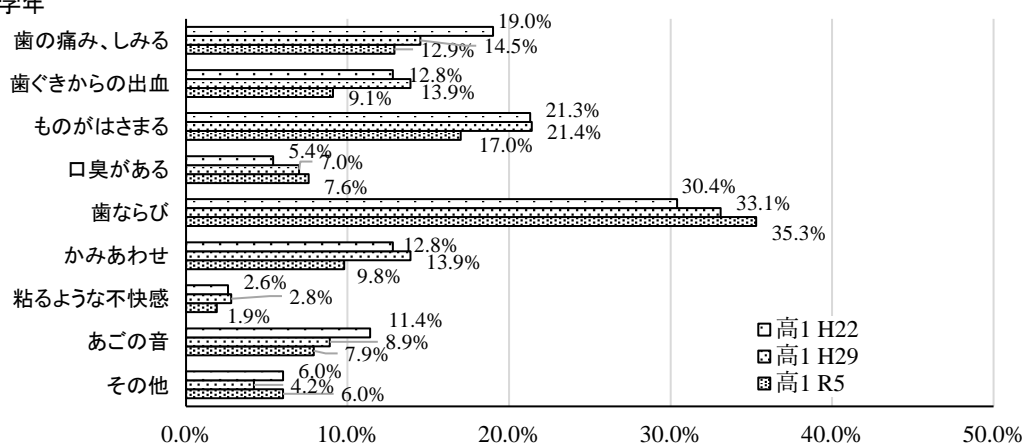
今回調査では、歯や口の中についての悩みについては、「歯ならび」の割合が、35.3%と最も高い結果であった。次いで、「ものがはさまる」(17.0%)、「歯が痛んだり、しみたりする」(12.9%)が高い結果であった。

経年的な変化をみると、「歯ならび」、「口臭がある」の割合は、増加傾向であり、「歯が痛んだり、しみたりする」、「ものがはさまる」、「口をあけるとあごのあたりがゴリゴリと音がする」は減少傾向である。

平成 29 年度調査との比較では、「歯ならび」の割合は、2.2 ポイント増加している。

	歯の痛み、しみる	歯ぐきからの出血	ものがはさまる	口臭がある	歯ならび	かみあわせ	快感 粘るような不	あごの音	その他
高等学校第 1 学年	12.9	9.1	17.0	7.6	35.3	9.8	1.9	7.9	6.0

高等学校第1学年



【特別支援学校の部】

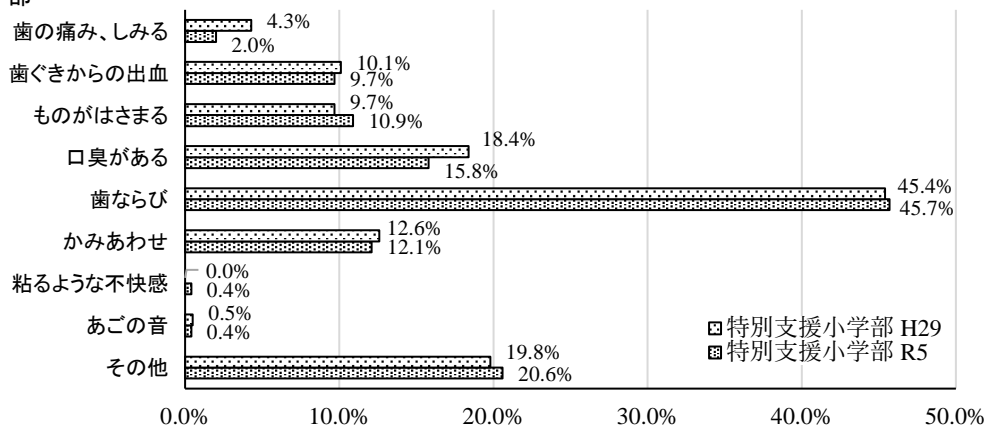
今回調査では、歯や口の中についての悩みについては、小学部・中学部・高等部（生徒回答）・高等部（保護者回答）で「歯ならび」の割合が、それぞれ 45.7%・41.0%・27.7%・38.7%と最も高い結果であった。小学部では、「歯ならび」、「口臭がある」、「かみあわせ」、「ものがはさまる」、が高い結果であった。中学部では、「歯ならび」、「口臭がある」、「歯ぐきからの出血」、が高い結果であった。さらに、高等部（生徒回答）、「歯ならび」、「ものがはさまる」、「口臭がある」、「歯ぐきからの出血」、が高い結果であった。高等部（保護者回答）では、「歯ならび」、「歯ぐきからの出血」、「粘るような不快感がある」、「口臭がある」、が高い結果であった。

平成 29 年度調査との比較では、「歯ならび」の割合は、小学部・中学部・高等部（生徒回答）・高等部（保護者回答）いずれも、大きな変化は認められなかった。

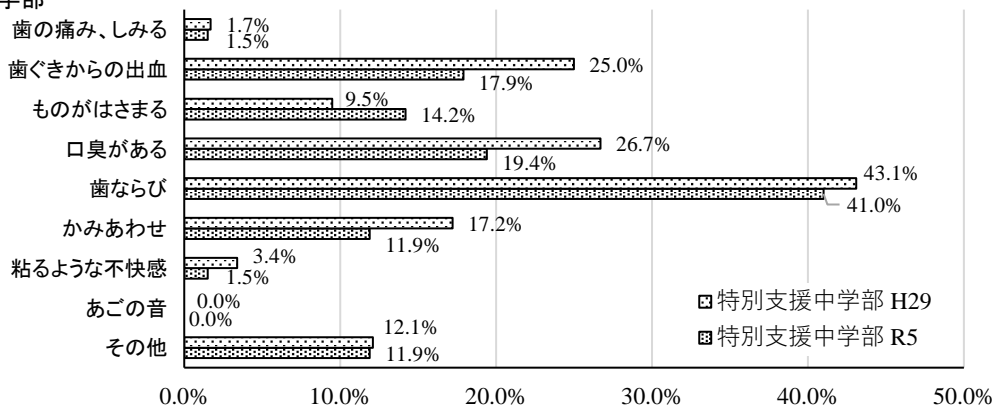
	歯の痛み、しみる	歯ぐきからの出血	ものがはさまる	口臭がある	歯ならび	かみあわせ	粘るような不快感	あごの音	その他
特別支援小学部	2.0	9.7	10.9	15.8	45.7	12.1	0.4	0.4	20.6
特別支援中学部	1.5	17.9	14.2	19.4	41.0	11.9	1.5	0.0	11.9
特別支援高等部（生徒回答）	4.6	18.5	22.5	22.0	27.7	7.5	2.3	2.9	13.9
特別支援高等部（保護者回答）	3.8	24.5	9.4	17.0	38.7	12.3	17.9	0.0	13.2

数値は%

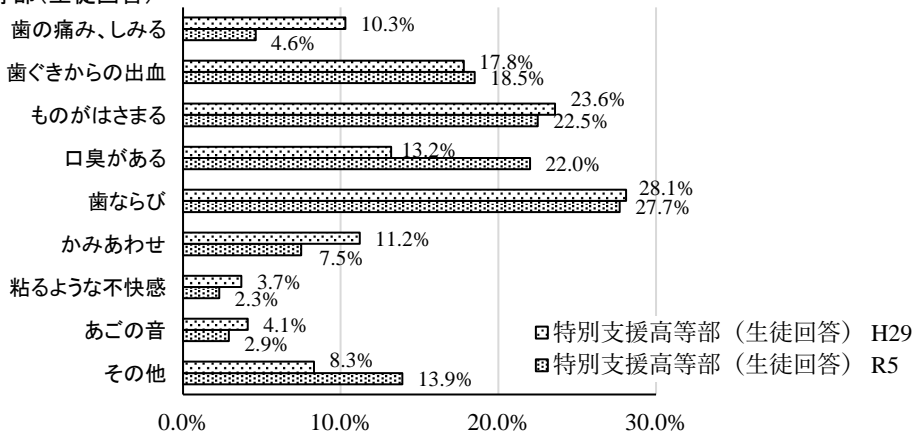
特別支援小学部



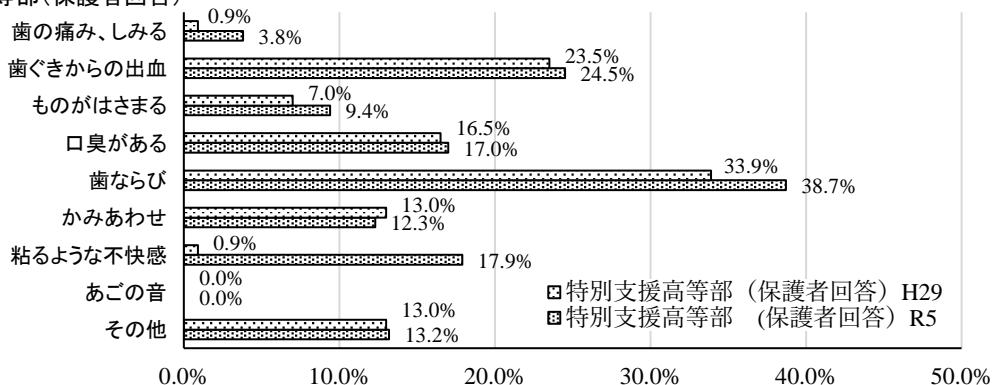
特別支援中学部



特別支援高等部(生徒回答)



特別支援高等部(保護者回答)



(15) 保護者の歯科健診の受診状況

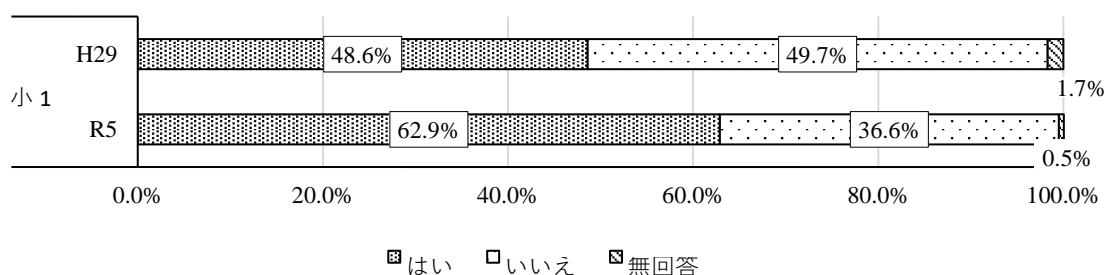
(小学校第1学年、特別支援学校小学部・中学部・高等部(保護者回答)のみ)
あなた(保護者)は年に1回歯科健診を受けていますか。

【小学校の部】

今回調査では、「はい」の割合が 62.9%で、「いいえ」が 36.6%であった。

平成 29 年度調査との比較では、「はい」の回答が 14.3 ポイント増加していた。

	小学校第1学年	
	人数	%
はい	352	62.9
いいえ	205	36.6
無回答	3	0.5



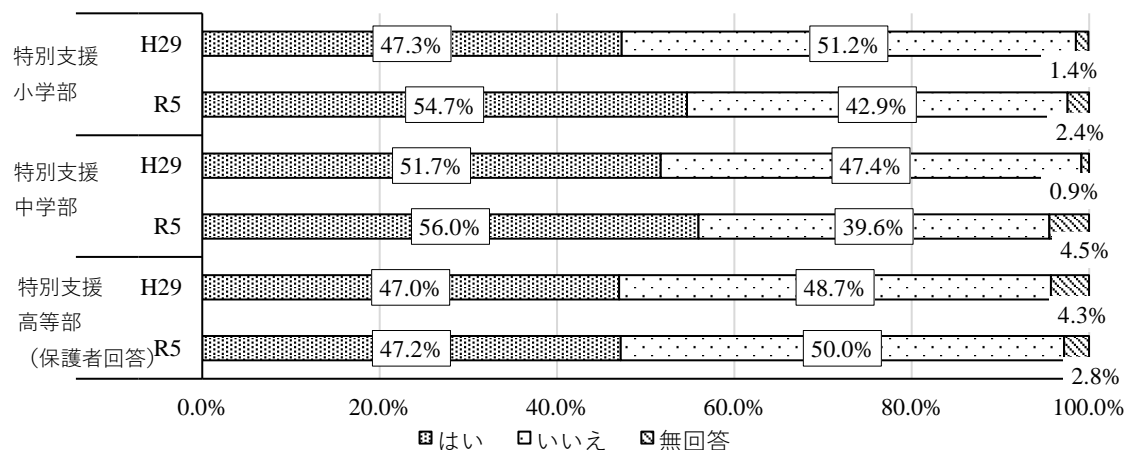
【特別支援学校の部】

今回調査では、全体でみると、「はい」の割合が 53.4%で、「いいえ」が 43.5%であった。

保護者の歯科健診の受診状況をみると、小学部・中学部では、「はい」と回答した者が 50%を超える結果であった。一方、高等部(保護者回答)は、「いいえ」が「はい」を上回る回答であった。

平成 29 年度調査との比較では、いずれも「はい」の回答が増加しており、小学部で 7.4 ポイント、中学部で 4.3 ポイント増加していた。

	特別支援小学部		特別支援中学部		特別支援高等部(保護者回答)		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
はい	135	54.7	75	56.0	50	47.2	260	53.4
いいえ	106	42.9	53	39.6	53	50.0	212	43.5
無回答	6	2.4	6	4.5	3	2.8	15	3.1



(16) 保護者のかかりつけ歯科医の有無

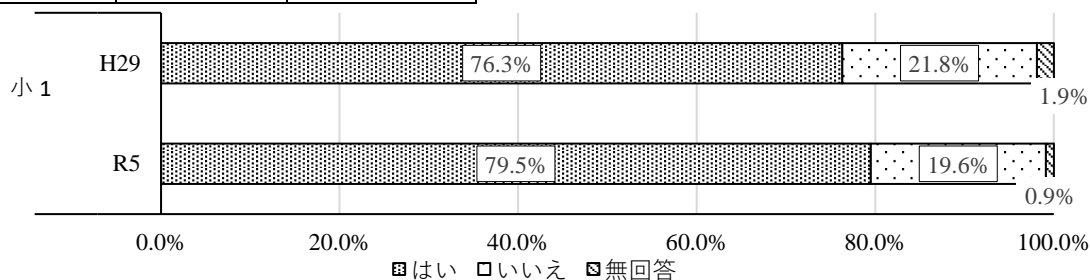
(小学校第1学年、特別支援学校小学部・中学部・高等部(保護者回答)のみ)
あなた(保護者)はかかりつけ歯科医師がいますか。

【小学校の部】

今回調査では、「はい」の割合が79.5%で、「いいえ」は19.6%であった。

平成29年度調査との比較では、「はい」の割合は、3.2ポイント増加していた。

	小学校第1学年	
	人数	%
はい	445	79.5
いいえ	110	19.6
無回答	5	0.9



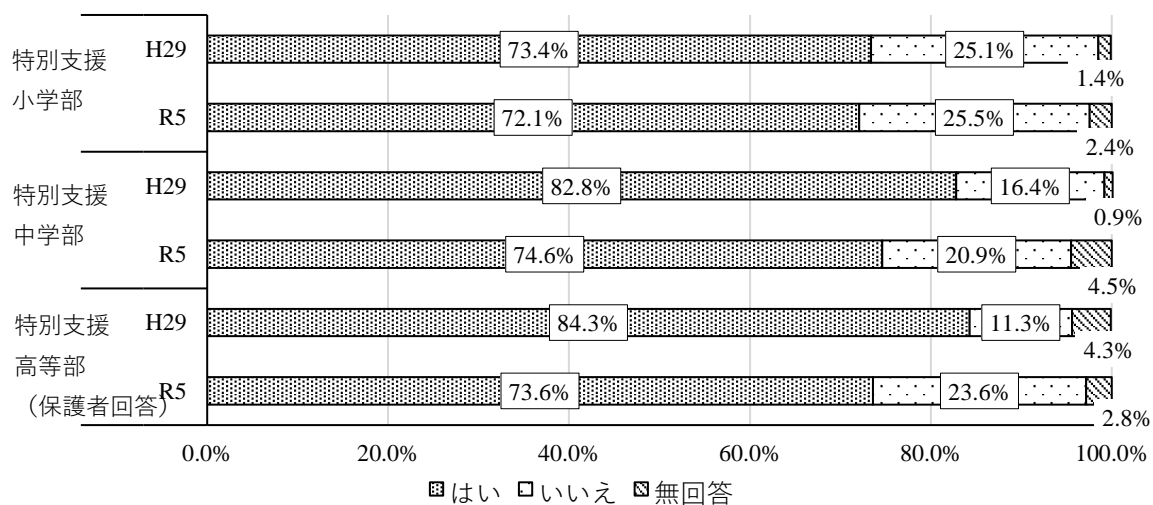
【特別支援学校の部】

今回調査では、全体でみると、「はい」の割合が73.1%で、「いいえ」は23.8%であった。

いずれの保護者も「はい」と回答した者が70%を超える結果であった。

平成29年度調査との比較では、「はい」の割合は、小学部で1.3ポイント、中学部で8.2ポイント減少し、高等部では10.7ポイント減少していた。

	特別支援小学部		特別支援中学部		特別支援高等部(保護者回答)		全体	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
はい	178	72.1	100	74.6	78	73.6	356	73.1
いいえ	63	25.5	28	20.9	25	23.6	116	23.8
無回答	6	2.4	6	4.5	3	2.8	15	3.1



(17) 保護者のかかりつけ歯科医の有無と質問項目の関連性

各質問項目の回答別に保護者(小学校第1学年・特別支援学校 保護者(小学部・中学部・高等部(保護者回答)のかかりつけ歯科医の有無の割合に明らかな差(統計学的に有意な差)が認められるかを検討した。

<小学校第1学年>

今回の調査で、保護者のかかりつけ歯科医の有無と統計学的に関連性が認められた項目は、「甘いお菓子の摂取頻度」、「歯や歯ぐきの観察」、「仕上げみがきの有無」、「フッ素入りみがき剤への考慮」、「保護者の歯科健診の受診の有無」の5項目であった。かかりつけ歯科医のある者のは、子どもの甘いお菓子の摂取を週に1~2回とする割合が低い結果であった。有意な関連はみられたが、かかりつけ歯科医のある者の方が甘いお菓子の摂取頻度としては高かった。かかりつけ歯科医のある者は、週に1回以上子どもの歯や歯ぐきの観察を行っている割合が高かった。また、子どものフッ素入り歯みがき剤を選ぶ考慮をしている割合が高く、保護者自身の年1回の歯科検診の受診割合が高かった。

質問項目	選択肢	かかりつけ歯科医(保護者)		p値*
		あり	なし	
性別	男	217	63	N.S
	女	228	46	
甘いお菓子の摂取頻度	ほぼ毎日	222	45	0.008
	週に3~4日	146	34	
	週に1~2日	63	30	
	ほとんどない	12	1	
甘い飲み物の摂取頻度	ほぼ毎日	118	24	N.S
	週に3~4日	100	23	
	週に1~2日	148	41	
	ほとんどない	79	22	
歯や歯ぐきの観察	週に1回以上	360	74	0.004
	月に1回以上	64	27	
	ほとんどない	17	9	
仕上げみがきの有無	毎日している	327	74	N.S
	時々する	99	27	
	していない	18	9	
歯みがきの有無	毎日している	399	95	N.S
	時々する	40	13	
	していない	6	2	
歯みがき剤の使用	いつも使う	392	96	N.S
	時々使う	36	9	
	使っていない	17	5	
フッ素入り歯みがき剤の使用の有無	使っている	395	96	N.S
	使っていない	39	10	
	わからない	11	4	
フッ素入り歯みがき剤への考慮	している	406	88	<0.001
	していない	39	22	
保護者の歯科健診の受診状況	はい	345	6	<0.001
	いいえ	100	104	

*; χ^2 検定またはフィッシャーの正確確率検定 p値は、偶然である確率を表す。数字が小さいほど偶然ではなく必然的に起こった結果であると考えられる。N.S;not significant (有意な差があるとは言えない)

< 特別支援学校 保護者(小学部・中学部・高等部(保護者回答)) >

今回の調査で、保護者のかかりつけ歯科医の有無と統計学的に関連性が認められた項目は、「歯や歯ぐきの観察」、「仕上げみがきの有無」、「フッ素入り歯みがき剤の使用の有無」、「フッ素入り歯みがき剤への考慮」、「保護者の歯科健診の受診の有無」の5項目であった。かかりつけ歯科医のある者は、週に1回以上子どもの歯や歯ぐきの観察を行っている割合が高かった。また、子どもの歯の仕上げみがきを毎日している割合が高かった。かかりつけ歯科医のある者は、子どもにフッ素入り歯みがき剤を使用している割合が高く、子どもにフッ素入り歯みがき剤を選ぶ考慮をしている割合も高い結果であった。また、かかりつけ歯科医がある者は、保護者自身の年に1回の歯科検診の受診割合が高かった。

質問項目	選択肢	かかりつけ歯科医 (保護者)		p 値*
		あり	なし	
子どもの性別	男	251	73	N.S
	女	99	42	
甘いお菓子の摂取頻度	ほぼ毎日	114	40	N.S
	週に3~4日	107	23	
	週に1~2日	73	25	
	ほとんどない	62	27	
甘い飲み物の摂取頻度	ほぼ毎日	124	42	N.S
	週に3~4日	48	14	
	週に1~2日	84	32	
	ほとんどない	100	27	
歯や歯ぐきの観察	週に1回以上	264	65	< 0.001
	月に1回以上	46	26	
	ほとんどない	43	24	
仕上げみがきの有無	毎日している	274	72	0.013
	時々する	42	20	
	していない	40	22	
歯みがきの有無	毎日している	189	61	N.S
	時々する	83	27	
	していない	82	26	
歯みがき剤の使用	いつも使う	291	89	N.S
	時々使う	20	8	
	使っていない	45	18	
フッ素入り歯みがき剤の 使用の有無	使っている	281	75	0.001
	使っていない	61	29	
	わからない	12	12	
フッ素入り歯みがき剤への 考慮	している	275	68	< 0.001
	していない	77	47	
保護者の歯科健診の受診状況	はい	255	4	< 0.001
	いいえ	100	112	

*; χ^2 検定またはフィッシャーの正確確率検定 p値は、偶然である確率を表す。数字が小さいほど偶然ではなく必然的に起こった結果であると考えられる。N.S; not significant (有意な差があるとは言えない)

(18) 歯の健康に関する自信と質問項目の関連性

各質問項目の回答別に小学校第4学年・中学校第1学年・高等学校第1学年、特別支援学校高等部(生徒回答)歯の健康に関する自信の有無の割合に明らかな差(統計学的に有意な差)が認められるかを検討した。

<小学校第4学年>

今回の調査で、歯の健康に対する自信と統計学的に関連性が認められた項目は、「歯みがきの有無」、「歯みがき剤の使用」、「フッ素入り歯みがき剤の使用の有無」、「フッ素入り歯みがき剤への考慮」、「歯や歯ぐきの観察」の5項目であった。歯の健康に自信がある者は、歯みがきを毎日している割合が高く、歯みがき剤をいつも使う割合も高かった。また、歯の健康に自信のある者は、フッ素入り歯みがき剤を使用する割合も高く、フッ素入り歯みがき剤を選ぶ考慮をしている割合も高い結果であった。同じく、歯や歯ぐきの観察を週に1回以上している割合も高かった。

質問項目	選択肢	自信あり	自信なし・わからない	p値*
性別	男	121	182	N.S
	女	106	185	
歯みがきの有無	毎日している	217	332	0.018
	時々する	11	41	
	していない	0	2	
歯みがき剤の使用	いつも使う	204	305	0.011
	時々使う	17	46	
	使っていない	5	23	
フッ素入り歯みがき剤の使用の有無	使っている	119	139	0.001
	使っていない	12	25	
	わからない	92	207	
フッ素入り歯みがき剤への考慮	している	107	126	0.002
	していない	116	234	
歯や歯ぐきの観察	週に1回以上している	126	168	0.002
	月に1回以上している	59	86	
	ほとんどない	44	120	
甘いお菓子の摂取頻度	ほぼ毎日	76	152	N.S
	週に3~4日	57	92	
	週に1~2日	61	92	
	ほとんどない	35	39	
甘い飲み物の摂取頻度	ほぼ毎日	56	98	N.S
	週に3~4日	55	98	
	週に1~2日	69	100	
	ほとんどない	49	79	

*; χ^2 検定またはフィッシャーの正確確率検定 p値は、偶然である確率を表す。数字が小さいほど偶然ではなく必然的に起こった結果であると考えられる。N.S;not significant (有意な差があるとは言えない)

< 中学校第 1 学年 >

今回の調査で、歯の健康に対する自信と統計学的に関連性が認められた項目は、「フッ素入りみがき剤への考慮」、「歯や歯ぐきの観察」の 2 項目であった。

歯の健康に自信がある者は、フッ素入り歯みがき剤を選ぶ考慮をしている割合が高く、週に 1 回以上、歯や歯ぐきの観察をしている割合が高かった。

質問項目	選択肢	自信あり	自信なし・わからない	p 値*
性別	男	56	249	N.S
	女	58	248	
歯みがきの有無	毎日している	112	465	N.S
	時々する	2	37	
	していない	0	2	
歯みがき剤の使用	いつも使う	106	442	N.S
	時々使う	6	45	
	使っていない	2	16	
フッ素入り歯みがき剤の使用の有無	使っている	63	224	N.S
	使っていない	7	33	
	わからない	43	246	
フッ素入り歯みがき剤への考慮	している	45	151	0.037
	していない	66	347	
デンタルフロスの使用頻度	ほぼ毎日	14	43	N.S
	週に 3~4 日	13	51	
	週に 1~2 日	25	110	
	ほとんどない	60	299	
歯や歯ぐきの観察	週に 1 回以上している	66	202	0.002
	月に 1 回以上している	27	148	
	ほとんどない	21	154	
甘いお菓子の摂取頻度	ほぼ毎日	29	134	N.S
	週に 3~4 日	46	195	
	週に 1~2 日	31	147	
	ほとんどない	8	28	
甘い飲み物の摂取頻度	ほぼ毎日	30	137	N.S
	週に 3~4 日	27	142	
	週に 1~2 日	31	148	
	ほとんどない	26	77	

*; χ^2 検定またはフィッシャーの正確確率検定 p 値は、偶然である確率を表す。数字が小さいほど偶然ではなく必然的に起こった結果であると考えられる。N.S; not significant (有意な差があるとは言えない)

< 高等学校第1学年 >

今回の調査で、歯の健康に対する自信と統計学的に関連性が認められた項目は、「フッ素入りみがき剤への考慮」、「歯や歯ぐきの観察」の2項目であった。

歯の健康に自信がある者は、歯みがき剤を選ぶときに、フッ素を考慮する割合と歯や歯ぐきの観察を週1回以上している割合が高かった。

質問項目	選択肢	自信あり	自信なし・わからない	p 値*
性別	男	28	118	N.S
	女	31	132	
歯みがきの有無	毎日している	59	249	N.S
	時々する	1	6	
	していない	0	0	
歯みがき剤の使用	いつも使う	60	245	N.S
	時々使う	0	7	
	使っていない	0	3	
フッ素入り歯みがき剤の使用の有無	使っている	36	128	N.S
	使っていない	2	15	
	わからない	22	112	
フッ素入り歯みがき剤への考慮	している	30	80	0.006
	していない	30	175	
デンタルフロスの使用頻度	ほぼ毎日	5	7	N.S
	週に3~4日	7	20	
	週に1~2日	13	54	
	ほとんどない	35	173	
歯や歯ぐきの観察	週に1回以上している	29	88	0.009
	月に1回以上している	20	66	
	ほとんどない	11	100	
甘いお菓子の摂取頻度	ほぼ毎日	13	61	N.S
	週に3~4日	27	106	
	週に1~2日	19	68	
	ほとんどない	1	20	
甘い飲み物の摂取頻度	ほぼ毎日	20	72	N.S
	週に3~4日	18	66	
	週に1~2日	14	85	
	ほとんどない	8	32	

*; χ^2 検定またはフィッシャーの正確確率検定 p値は、偶然である確率を表す。数字が小さいほど偶然ではなく必然的に起こった結果であると考えられる。N.S; not significant (有意な差があるとは言えない)

< 特別支援学校高等部(生徒回答) >

今回の調査で、歯の健康に対する自信と統計学的に関連性が認められた項目は、「甘い飲み物の摂取頻度」であった。

歯の健康に自信がある者は、甘い飲み物をほとんど飲まない割合が高かった。

質問項目	選択肢	自信あり	自信なし・わからない	p 値*
性別	男	34	84	N.S
	女	19	35	
学年	第1学年	23	55	N.S
	第2学年	10	37	
	第3学年	20	27	
歯みがきの有無	毎日している	47	101	N.S
	時々する	6	16	
	していない	0	2	
歯みがき剤の使用	いつも使う	50	98	N.S
	時々使う	1	13	
	使っていない	1	7	
フッ素入り歯みがき剤の使用の有無	使っている	35	61	N.S
	使っていない	4	26	
	わからない	14	31	
フッ素入り歯みがき剤への考慮	している	31	56	N.S
	していない	21	59	
歯や歯ぐきの観察	週に1回以上している	19	29	N.S
	月に1回以上している	8	22	
	ほとんどない	26	66	
甘いお菓子の摂取頻度	ほぼ毎日	19	32	N.S
	週に3~4日	7	39	
	週に1~2日	17	29	
	ほとんどない	10	19	
甘い飲み物の摂取頻度	ほぼ毎日	14	33	0.029
	週に3~4日	16	30	
	週に1~2日	9	41	
	ほとんどない	14	14	

* ; χ^2 検定またはフィッシャーの正確確率検定 p値は、偶然である確率を表す。数字が小さいほど偶然ではなく必然的に起こった結果であると考えられる。N.S; not significant (有意な差があるとは言えない)